平成２５年度

教育委員会点検・評価報告書

平成２６年１０月

登別市教育委員会

目　　次

Ⅰ 教育委員会の点検・評価について・・・・・・・・・・・・　１

Ⅱ 評価の手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
　１ 点検・評価の対象
　２ 実施の流れ

Ⅲ 評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
　１ 教育委員会の活動状況の概要報告
　２ 重点施策の評価
　３ 重点施策の評定結果

Ⅳ 点検・評価に関する学識経験者の意見等・・・・・・・・・３７

Ⅴ 評価のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０

Ⅵ 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
　１　平成２５年度教育行政執行方針
　２　教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ
　３　平成２５年度　各種基本計画の進捗状況
　　・ 学校教育基本計画
　　・ 第４次社会教育中期計画
　　・ 文化振興基本計画
　　・ スポーツ振興基本計画

Ⅰ 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）が改正され（平成２０年４月１日施行）、教育委員会では、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされ、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされました。

登別市教育委員会では、効率的な教育行政の推進を図るとともに、市民の皆様に説明責任を果たしていくため、地教行法に基づき、平成２５年度の教育委員会の活動状況の報告と基本方針及び重点項目の主な施策（２０項目）について点検評価を行い、教育に関する学識経験を有する方々の意見を付して「教育委員会点検・評価報告書」としてまとめました。

本報告書を公表することにより、市民の皆様に教育に関する事務の管理及び評価の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ってまいります。

Ⅱ 評価の手法

１ 点検・評価の対象

登別市教育委員会点検・評価は、教育委員会の活動状況の他、平成２５年度の教育　行政執行方針に位置づけられた施策・事業を対象として実施しました。

２ 実施の流れ

⑴ 教育委員会の活動状況の概要報告

教育委員会の1年間の様々な活動について

⑵ 平成２５年度の重点施策の管理及び執行状況の評価

・教育行政執行方針に位置づけられている重点施策を評価しました。

点 検 内 容	当該年度の教育行政執行方針の重点内容
取 組 状 況	当該年度内に実施した取組の概要
評　　価	取組の実施状況に対する評価
今後の方向性	今後の取組を進める上での課題や対応の方向

⑶ 教育行政執行方針における重点施策の評定結果

・４段階（Ａ～Ｄ）で、評価を実施しました。

Ａ：達成しているもの
Ｂ：おおむね達成しているもの
Ｃ：達成見込みであるが一部課題があるもの
Ｄ：達成に向け困難な課題があるもの

⑷ 点検・評価に関する学識経験者の意見等

・点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方からの意見、助言をいただきました。

学識経験者

氏　　名	所　　属　　等
石 井　憲 一	元日本工学院北海道専門学校　参与
小 塚　順 一	登別市退職校長会　会長

Ⅲ 評価結果

１ 教育委員会の活動状況の概要報告

(1) 教育委員会の活動状況

教育委員会については、毎月１回下旬に定例会議を開催しました。必要に応じて開催する臨時会議は、６月と２月に開催しております。

会議においては、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則に従って、教育長委任事務以外の事務における議案の提案理由や説明が行われた後、各委員からの質問・意見などの審議を経て、いずれも可決、了承されました。また、事務　　局からの情報提供や各種課題、事業の進捗状況、その他事項の報告について、委　　員と事務局との間で意見交換を行いました。

(2) 平成２５年度　登別市教育委員会「定例会議」の概要

第１回 会議	4/26 16:30	議案第１号　登別市スポーツ推進委員の委嘱について 情報提供　1,平成25年度登別市組織機構図(教育委員会) 2,平成25年度教育委員会事務局職員名簿 3,平成25年度児童数・学級数調書(小学校) 4,平成25年度生徒数・学級数調書(中学校) 5,平成25年度登別市小中学校行事予定一覧 6,平成25年度登別市小中学校「校長会」・「教頭会」三役等 7,年度別不登校児童・生徒の出現の状況 8,不登校「きっかけ・継続の理由」分布 9,年度別いじめ認知件数推移の状況 意見交換から(委員の意見・感想) ・不登校が低学年から継続している子がいる。適応教室の充実が必要である。 ・不登校・いじめ対策は、保護者との連携が重要である。 ・近所に、クラス替えでいじめがなくなり笑顔が戻った子がいるが、まわりが　様々なきっかけをつくることが大切だと思う。
第２回 会議	5/21 16:30	報告第1号　市議会臨時会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 議案第2号　平成24年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価に係る学識経験者の活用及び選任について 情報提供　1,平成25年度児童数、学級数調書(小学校) 2,平成25年度児童数、学級数調書(中学校) 3,平成25年度文化・スポーツ振興財団行事について 4,平成25年度市内小学校運動会日程について
第３回会議 (臨時会)	6/21 16:00	議案第3号　職員の処分について
第４回 会議	6/28 16:00	報告第2号　市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 報告第3号　平成25年第2回登別市議会定例会一般質問について 情報提供　1,学校図書担当者・学校ボランティア連絡会議について 2,平成25年度の教育課程編成状況について 3,北海道都市教育委員会連絡協議会の定期総会について

		4,第63回社会を明るくする運動のメッセージ伝達式について 5,図書館からの広報誌について 意見交換から(委員の意見・感想) ・児童館から自転車で勢いよく降りてくる低学年が子がいて危険である。学校での安全指導をお願いしたい。 ・いじめや体罰は加害の側には意識が低くても、当事者は深刻に捉えていることもある。そのギャップも考え解決する必要がある。
第５回 会議	7/24 16:30	情報提供　1,登別市の学力向上対策について 2,第1回幼保・小・中連携協議会について 3,家族の時間づくりプロジェクトについて 4,メール配信システム等を活用した学校の情報化について 5,新規ＡＬＴの概要について 6,登別市版コミュニティスクール計画の概要について 7,平成25年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業について 8,第1回のぼりべつ夏祭り～いぶり食と文化の祭典～について 9,平成25年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会について 意見交換から(委員の意見・感想) ・学力と読書量の関係は、現場の先生方にもっと理解してもらいたい。担任も子どもと一緒に朝読書を週１・2回ではなく毎日取り組んでもらいたい。 ・読解力を養うには読書が大切だと言われている。学校だけでなく家庭にも働きかけることが大切である。また、読書感想文の応募が増えることを願っている。 ・家族の時間づくりは、保護者の勤務する事業主からどれだけ理解を得られるかが一番の課題である。有給休暇をきちんと取る一助になると期待している。 ・デンマーク中学生派遣は、今、日本の若者が海外留学したがらないと言われているが、海外で見聞を広げる経験をすることはとてもよいことである。
第６回 会議	8/26 16:30	報告第4号　学校給食センター内の水道管修繕について 議案第4号　平成24年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価について 情報提供　1,家族の時間づくりプロジェクトについて 2,適正配置基本方針策定までのロードマップについて 3,耐震化実施設計委託費の補正について 4,第4回登別市学校給食展について 意見交換から(委員の意見・感想) ・点検・評価報告書は、1年間の教育委員会の現状を伝えるものとなっている。学識経験者の指摘もあり、私達もしっかり勉強していかなければならないと思う。 ・学校の統廃合は一長一短があり、進んだ地域ではすべてがスクールバスになり地域とのつながりが切れてしまうこともあるようだ。将来に向けての難しい課題である。
第７回 会議	9/26 16:00	議事日程 第1 登別市教育委員会委員長の選挙について 第2 登別市教育委員会委員長職務代理者の指定について 報告第5号　市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 第6号　平成25年第3回登別市議会定例会一般質問について 情報提供　1,学校規模等適正化基本方針策定までのロードマップについて 2,平成25年度全国学力・学習状況調査について 3,西陵中学校敷地内における車両損傷事故について 4,「教育のぼりべつ」の発行について 5,第4回登別市学校給食展試食会について

		意見交換から(委員の意見・感想) ・食物アレルギーは命にかかわることから、その場で速やかに一番いい方法が　とれるようにすることが大切でエピペンの使用方法を理解する必要がある。 ・学力テストの中ですべてを推し量ることは難しいと思うが、学校間の格差を　どう埋めるかが課題だと思う。地域性や家庭の意識、先生方の指導方法など　色々なことが関わってくるが地道な努力が必要である。
第８回 会議	10/29 16:30	報告第7号　平成25年度登別市功労者及び登別市表彰の被表彰者について 報告第8号　市議会臨時会議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 情報提供　1,平成25年第3回登別市議会臨時会に係る議案等(教育関係)について 2,教育ふれあいウィークについて 3,中学校区別教育懇談会について 4,第9回図書館まつりについて 5,図書館雑誌「ライブラリーリサーチガイド」への掲載について 意見交換から(委員の意見・感想) ・臨時会の「スポーツを活用した地域コミュニティ再生事業」により、ショッ　ピングセンターアーニスに多目的スタジアムを開設することになり、空き店　舗スペースの活用とマッチングさせるのもよいことだ。市民が集まる場とし　て成功させてほしい。 ・教育ふれあいウィークでは、できるだけ委員も学校を訪問し子どもたちの様　子を拝見させてもらいたいと考えている。
第９回 会議	11/29 16:30	報告第9号　市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 情報提供　1,平成25年度全国学力・学習状況調査実施に伴う登別市の全道及び胆振管内との比較について 2,いじめ防止対策推進法の取り組みについて 3,平成25年度教育ふれあいウィーク実施状況について 4,流行性胃腸炎・感冒について 5,経理事務の遅滞に対する再発防止の取組について 6,通学合宿について 7,学校開放事業について 8,学校環境衛生活動について 移動教育委員会 1,幌別小学校屋内運動場耐震改修工事現地視察 2,幌別小学校校長との懇談 意見交換から(委員の意見・感想) ・いじめ防止のための組織を立ち上げるということだが、いじめが発覚したと　きだけ動くのではなく、予防の活動が主なものとなっていくとすると一団体　で間に合うのかと思う。いろいろな連携が必要である。 ・教育ふれあいウィークで学校を訪問したが、教室の入り口のドアが閉まって　いると入りづらい。開けておくことはできないものか。
第１０回 会議	12/24 16:30	議案第5号　登別市立学校学校医等表彰について 議案第6号　登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 報告第10号　平成25年第4回登別市議会定例会一般質問事項について 情報提供　1,市内学校職員の不祥事について 2,土曜日の教育活動の推進について 3,給食費の改定について 4,全国青年市長会陸前高田復幸支援センターへの派遣について 5,平成26年登別市成人祭について

		6,教育委員会広報「教育のぼりべつ」の発行について 7,こいのぼりマラソンについて 意見交換から(委員の意見・感想) ・土曜授業は、先生方が子どもとの関わる時間がとれないことの解消をねらい　としていてよいことだと思うが、今の先生方の仕事は激務だと言われている　ので、そのあたりを整理する必要がある。 ・こいのぼりマラソンは、新しく街中走るコースに変更されるが、今までは目　立たないコースで応援も少ないとの声もあったので大きな改善だと思う。
第１１回 会議	1/24 16:30	議案第7号　教職員の懲戒処分の内申について 第8号　登別市社会教育員に関する条例の一部改正について 第9号　登別市青少年会館設置条例の一部改正について 第10号　登別市郷土資料館条例施行規則の一部改正について 第11号　平成26年度学校給食費の額について 第12号　登別市立図書館条例の一部改正について 情報提供　1,全国青年市長会陸前高田復幸応援センターへの職員派遣について 2,平成25年度全国体力･運動能力調査について 3,平成25年度小中学校卒業式出席者調整について 4,平成25年度胆振管内教育委員会委員研修会の開催について 意見交換から(委員の意見・感想) ・給食の価格を重視するあまりに、子どもの栄養面はもちろん、美味しいとい　うことも大事な要素であるので、このたびの値上げは仕方ない面がある。こ　れを機にさらに美味しい給食の提供を願っている。 ・図書館の分館が、ショッピングセンターアーニスの中にできることは、バリ　アフリー化された施設であり市民が利用しやすい場所として生まれ変わるよ　い方向だと思う。
第１２回 会議	2/14	議案第13号 平成26年度登別市教育行政執行方針について
第１３回 会議	2/21 16:30	報告第11号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について(一般会計等) 第12号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について(補正予算) 議案第14号 登別市立図書館条例施行規則の一部改正について 第15号 登別市立図書館処務規程の一部改正について 情報提供　1,平成26年度登別市教育行政執行方針について 2,平成25年度小中学校卒業式出席者調整について 意見交換から(委員の意見・感想) ・図書館司書を配置した学校では、読書する子が増えたと聞いている。子ども　の読書環境づくりを向上させることが大事であると思うので、今後の事業の　展開に期待している。
第１４回 会議	3/26 16:30	報告第13号 教職員人事の内申に係る臨時代理の報告について 14号 平成26年第1回登別市議会定例会一般質問事項(教育関係)について 15号 教育委員会事務局職員の人事異動発令に係る臨時代理の報告について 16号 登別市教育委員会事務局処務規程の一部改正について 17号 登別市民プール条例施行規則の制定について 18号 登別市青少年会館運営規則の一部改正について 19号 登別市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 情報提供　1,登別市のいじめ対策について 2,平成25年度教育施設耐震診断結果について 3,平成26年度登別市立中学校進路状況(高校進学)について

		意見交換から ・耐震診断結果から、登別小学校・登別中学校も訪問して歴史を感じる校舎で　あるが、その良さと安全性は別問題である。早急な対応が必要である。 ・市内の学校では、いじめについて学期ごとに問題行動対応会議が開催され、　対応策が話し合われていると聞いている。このように日々の活動をしっかり　行っていると早期発見ができると思う。

(3) 調査活動の実施状況

教育委員による小中学校の教育活動の視察や研修活動の概要

①入学式　　4/5　青葉小、緑陽中：垣内委員長

②運動会　　6/8　幌別小：垣内委員長(他１名)

③学芸会　10/26　青葉小・10/27 幌別西小：垣内委員長

④公開研究会

11/14　幌東小：垣内委員長　10/23　　鷲別中：垣内委員長（他１名）

10/25　登別小：武田教育長

⑤教育ふれあいウィーク視察

市内一斉学校公開日「ふれあいウィーク」の視察 10/29～11/1

10/30　緑陽中：垣内委員長(他１名)

10/31　幌別中・登別中：垣内委員長(他１名)　鷲別中・幌別西小：武田教育長

11/1　登別小・富岸小・若草小・西陵中：垣内委員長

鷲別小・幌別東小・登別小：武田教育長

11/4　市教研講演会　垣内委員長(他１名)

⑥登別市教育研究会研究大会視察(武田教育長)

11/ 6　鷲別中(図工美術、進路部会)・幌東小(理科部会)

幌別小(国語・養護部会)・　西陵中(英語・コンピュータ・事務部会)

⑦9/3･9/4 北海道都市教育委員会連絡協議会　役員会・定期総会

新富良野プリンスホテル　垣内委員長（他１名）

⑧胆振管内教育委員会委員研修会　洞爺万世閣　2/17･2/18　垣内委員長(他２名)

⑨卒業証書授与式

幌別小学校(3/19)・幌別中学校(3/12)・登別小学校(3/20)・・・垣内委員長

鷲別中学校(3/13)・鷲別小学校(3/19)・・・・・・・・・・・・・森口委員

青葉小学校(3/18)・若草小学校(3/19)・緑陽中学校(3/13)・・・赤井委員

登別中学校(3/14)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・千葉委員

富岸小学校(3/18)・登別明日中等教育学校(3/1)・・・・・・・　武田教育長

⑩その他の活動(垣内委員長関係分)

4/23：育英会奨学金選考委員会　　5/27 管内教育委員会連絡協議会総会(室蘭)

6/11：道教委に対する要望活動(札幌)　7/9 社会を明るくする運動(幌別中)

8/25：登別市、白石市姉妹都市提携 30 周年記念式典(登別グランドホテル)

1/12：登別市成人祭(市民会館)　　4/26･7/31･10/15･2/6：民生委員推薦会

２ 重点施策の評価

項　　目	１　学校の総合的な教育力の向上
点検内容	教育課程の改善、子どもの学力・体力向上の取組、生活習慣の確立、教員の研修活動、社会教育との連携など、学校の総合的な教育力向上を図る「学校力向上総合実践事業」や「巡回指導教員活用事業」を推進する。
取組状況	

○学校力向上に関する総合実践事業実施報告書（概要）

	具体的取組内容	実施内容及び成果	到達目標の結果
教育課程等	○学力向上プランの策定 学校・学級プランの作成 ○児童の実態、学力調査の結果分析による学力向上プランの改善の実施 ○学力向上に関わる学年学級経営交流会議の学期毎の実施	○各学級でプラン作成。 １学期＝全国学力調査の結果分析を踏まえて作成。 ２学期＝学級の実態を関連させた手立てを修正 ３学期＝総括として、学年末に成果と課題をまとめる ○学級・学年ごとの児童の実態とそれを基にした効果的な指導の在り方を探るため、学級学年経営交流会を各学期で実施し、職員間で検証を行った。	○保護者アンケート「授業が分かりやすい」83.3%。 「ＴＴ等の指導形態の工夫」　89.6%。
	○基礎的・基本的な学習内容の習得を目指したチャレンジテスト、全国学力調査の問題を活用した授業づくり	○チャレンジテストやサポート問題に取り組ませ、定着の弱い学習内容や単元の学び直しを行う。 ○全国学力・学習状況調査の過去問題を授業で扱い、家庭学習でも活用させた。	○児童学習ｱﾝｹｰﾄ 満足度91.5% ○研究授業公開 各担任年３回
	○子どもの実態に基づいたTTによる指導の推進 ○指導重点単元の設定とTTによる指導の推進	○日常から学級担任とＴＴ担当が連携して学習計画について綿密に打ち合わせ、一人一人の実態を共通理解し指導に役立てる。 ○実態に応じてグループ別など指導形態を工夫した授業展開をしている。	○ＴＴ指導時数 国語：629時間 算数：632時間 理科：475時間
	○長期休業における補充的指導の機会の設定、個に応じた指導	○長期休業中は、夏季・冬季２日間補充学習を実施した。 ○配信のチャレンジテスト、サポート問題等のほか、個の実態に応じた学習内容(教科書の復習等)を取り上げた。	○夏季：のべ1674名 4年 5年 6年 ○冬季：のべ178名
教育課程	○発達の段階に応じた「学習の約束」の作成	○全校で基本の型を設定し、学年の発達段階に合わせて修正を加え、統一性のある指導を行った。	○保護者アンケート「授業が分かりやすい」評価83.3%。
	○家庭での生活習慣づくりチェックシート	○１週間ごとのチェックシートを作成し、３年生以上で実施。家庭学習の時間確保、習慣づくりにつながった。	○活用率95% (3～6年生)
	○学習環境整備や学習規律を定着させるための教師の自己チェックシートの作成	○授業内容、学級経営などのチェックシートを作成。 「環境整備編」「授業編」「運動会編」「修学旅行編」「宿泊学習編」「雰囲気編」「学芸会編」「通知表作成編」	○全教師が活用。 ○と△で自己評価し、改善を図った。
	○新体力テストの実施と分析	○５年生は全種目、３・４年生は４種目実施した。 ○持久力と走力に課題。持久走や短縄、長縄の実施	全国平均を下回る種目が多い。。
	○研究授業、公開研究会、テーマ別研修会への参加等による近隣の小学校間の連携深化	○公開研究会への参加、ミニ研修講座(学級経営や教科指導、行事指導や通知表作成等、日常の実践的な内容をテーマに)の実施等で、連携を深めた。	○ミニ研修講座 年間計20回実施 ○各回5～10名が参加
	○中学校への円滑な接続のための教育課程の交流、授業参観と研究協議への参加促進	○幌別中学校の教師に授業参観いただき、併せて学習規律の接続の在り方等の連携を図った。 ○中学校教師による出前授業(外国語・算数)	○２回実施
	○登別市幼保小連携協議会に参加するなど連携教育の推進	○引継ぎや日常の情報交流を行う。学級編成などの共通理解等に役立てることができた。	○連携協議会に担当者が参加(計２回)

地域・家庭との連携	○学校支援地域本部事業との連携を図った体験的な活動の充実	○児童の読書にかかわる活動の一助として、図書ボランティアの方々による図書貸出や返却、整理等の業務を、年間を通して行っていただいた。	○ボランティア 図書11名　スキー16名
	○学校支援地域本部事業のコーディネーターを中心とした豊かな体験活動の推進	○田植え、稲刈り、収穫祭などの体験活動を推進。地域の方の協力による乗馬体験も実施できた。	○田植え30名、稲刈り20名、収穫祭28名、乗馬体験24名が参加。
	○「早寝、早起き、朝ごはん」の定着	○保護者や児童に向けて保健便りやパンフレットなどを発行し、啓発や意識を高めた。	○家庭での実施率 88.5%。
	○市主催の体験学習への積極的参加と円滑な実施	○５・６年生＝通学合宿　○３年生＝温泉入浴体験 ○５・６年生＝スキー学習。	○通学合宿42名参加 ○入浴体験60名参加
人材育成	○校長との授業研究と協議（校長が学級担任全員の授業を参観。授業後に話し合う）	○若手教師が担任する学級(7学級予定)で、１１月初めから１２月にかけて計画し、実施の予定。授業者は、事後に校長室にて個別に指導を受け、大きな学びとなった。	○左記７学級で実施した。
	○日常の授業実践を中心にした初任者研修の実施 ○校内及び近隣校の教員を講師にテーマ別研修会の実施	○２名の初任者は、ほぼ毎日、初任者指導担当教諭から授業や学級経営についての指導を受け、力量を高めた。 ○初任者や若手教員の育成を目的にしたテーマ別のミニ研修を１５回実施し、明日からに役立てた。	○日常的に研修を実施し、個々の力量アップがうかがえる。
	○初任期の職員が在籍する学校へ校内授業研究等を案内し、授業づくり等を学び合う。	○学力、道徳、行事の指導などをテーマにミニ研修を行う。本校の初任者や若手教員のみならず、近隣校の教員も参加する。	○ミニ研修講座 年間20回実施。 ○各回5～10名参加
その他	○指導主事の学校教育指導を３回実施 ○今日的な教育課題等についてのテーマ別研修を開催	○７月・１１月＝教育局指導班　学校経営や授業づくり ○９月学校力向上アドバイザー村山紀昭氏 ○１１月同アドバイザーの菅沼肇氏 ○１月同アドバイザーの藤原文雄氏	○アドバイザーに校内研修では直接指導を受け、その後講演を行っていただいた。
	○視察の受入れ ○ＨＰへの研究成果の掲載 ○日常的な授業公開	○日常的に視察、来校者への資料配付、ＨＰの定期的更新を継続し、実践を広く公開した。	小樽市内小中47名 函館市八幡小17名 えりも小7名　浦河小 5名

【近隣校との連携による取組】

具体的取組内容	成果及び課題
○日常の授業実践を中心とした授業参観及び事後協議、校内研修への参加（初任者研修含む） ○校内･近隣校教員を講師としたテーマ別研修会の実施	○近隣校の公開研究会や授業研究を含む校内研修に参加し、日常の情報交流等を進めることができた。（ミニ研修も活用）
○近隣校を含めた年間指導計画を中心とした教育課程の内容の交流 ○日常の授業実践、校内研修など指導方法の交流	○上記内容と併せ、一部の教科等で年間指導計画の交流を行った。

○巡回指導教員活用事業

巡回指導教員＝幌別小学校教諭

本務校＝幌別小学校(週３日 11h)　兼務校＝若草小学校(週１日 2h)　鷲別小学校(週１日 2h)

評　価	学校力向上総合実践事業として、幌別小学校を実践指定校、幌別西小学校、幌別東小学校を近隣校とし、実践計画をもとに包括的な学校運営のあり方についての研究を進めることができた。学校長を中心に､若手教師の指導､教育課程･指導方法の研究、地域･家庭との連携など到達目標を明確にした取組を進めることができた。
今後の方向性	実践指定校の成果を近隣校や市内各学校へどのような方法で波及させていくのかを関係する学校の担当者会議などを開催して検討を図る。

項　　目	2　特色ある教育活動
点検内容	「知、徳、体」のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指し、子どもたちの発達段階や特性に応じた「特色ある教育活動」を支援する。
取組状況	

主な「特色ある教育活動」の実施状況

幌別小	環境教育	日常的なゴミの分別、リサイクルを通して環境への意識を高めている。
	情報教育	毎朝全校一斉読書の時間を設定している。図書ボランティアによる図書室の整理、読み聞かせが、日常的に行われている。
幌東小	国際理解教育	郷土の文化や伝統を生かす観点で地域の「駒踊り保存会」に参加・協力している。
	環境教育	リングプルを回収を通してリサイクル活動の意識を高めている。
	読書指導	週に１度、朝の時間に読書の時間を設定している。 図書ボランティアによる読み聞かせの活動を実施している。
鷲別小	国際理解教育	鷲別子ども獅子舞保存会の活動に参加・協力している。
	環境教育	花の苗を全校児童が植栽し、花壇の造成や世話を行い環境意識を高めている。
	読書指導	毎日､朝読書の実施。月２回図書ボランティアによる読み聞かせを行っている。
青葉小	国際理解教育	ＡＬＴと外国語活動だけでなく、給食交流や低学年とのふれあいを行っている。
	環境教育	学校裏山の「青葉の森」、校区内にある「キウシト湿原」で自然体験学習を行っている。
	その他	地域の方が中心となったスケートリンク実行委員会にお世話をいただきながら、スケート教室のほか、にじますの池での稚魚の放流、釣り体験を行っている。
若草小	環境教育	毎月１日を全校美化デーとして、校内の美化活動を行っている。
	読書指導	週２回朝の読書タイムを実施している。ＰＴＡの図書ボランティアにより、読み聞かせや図書室の整備を行っている。
富岸小	国際理解教育	諸外国の文化や生活の興味を高めるため、デンマーク留学生と触れ合い学習を実施している。
	環境教育	牛乳パックの回収や長期休業中の環境家計簿に全学年で取り組んでいる。 地域ボランティアの協力で､さけの採卵体験と富岸川へ稚魚の放流を行っている。
	読書指導	火曜日を読書タイムとして朝読書を実施している。 保護者ボランティアによる読み聞かせを実施している。
幌西小	国際理解教育	ＡＬＴの拠点校として週２回来校している。低学年から、外国の文化や言葉に親しむ活動に取り組んでいる。
	情報教育	全教育活動を通して情報教育に取り組み、情報機器の活用を図っている。
	読書指導	毎朝読書の時間を設定し、全校で読書活動に取り組んでいる。また、学校図書館司書により、読書環境の向上を図っている。
登別小	飼育栽培活動	地域町内会の協力を得て、ふるさと農園活動に取り組んでいる。
	環境教育	リングプルやペットボトルキャップの収集活動に取り組んでいる。
	地域連携	５，６年生で組織するマーチングバンドは、地域の行事にも参加している。
	その他	地域の協力を得て造成した土俵を使いすもう学習に取り組んでいる。 学校の裏山をゲレンデとして１～６年生までスキー学習に取り組んでいる。
登別中	国際理解教育	給食、放課後、各種行事などにもＡＬＴと触れ合う機会を設けている。
	環境教育	学級や部活動で花壇づくりを行い、環境意識を高めている。
	地域連携	登別地獄まつりに全校生徒が参加し、熊舞や太鼓を披露している。
緑陽中	読書指導	全校朝読書に取り組む。地域の図書ボランティアの協力を得て、図書室の読書環境づくりのほか、生徒の将棋・囲碁の相手もしていただいている。
	環境教育	ペットボトルキャップの回収に取り組み、３Ｒの意識高揚を図る。
	その他	部活動の加入率が８割を超え、活発な活動が取り組まれている。

幌別中	読書指導	朝読書のほか、地域の図書ボランティアによる図書室の改善を図っている。
	情報教育	電話会社の講習資料をもとに、携帯電話や電子メール等の正しい利用方法について講習会を実施している。
	その他	学校支援地域本部事業として､田植え、稲刈り､収穫祭などの体験活動を実施している。
西陵中	飼育栽培活動	学校花壇の苗の栽培・移植、整備作業を実施している。
	国際理解教育	ＡＬＴを教育活動のなかで、広く活用し交流を深めている。
	読書指導	全校一斉に朝読書に取り組んでいる。
鷲別中	情報教育	情報機器の活用方法やインターネットの情報モラルの指導を行っている。
	環境教育	日常生活の中で、節水、節電に心がけ二酸化炭素削減の意識を高めている。
	読書指導	毎日、朝読書に全校で取り組んでいる。地域の図書ボランティアと連携し生徒の読書に対する意識の向上に努めている。

評　　価	未来の登別を担う人材育成のために、地域の自然や文化・人材などを活用し、それぞれの学校の子どもの実態に応じた特色ある教育活動が展開されている。
今後の方向性	次年度、学校運営協議会が立ち上がり、コミュニティスクールが展開されることになるので、地域や家庭の意見を取り入れた特色のある教育活動の展開を一層推進する。

項　　目	**3　確かな学力向上**
点検内容	学校改善プランに基づき、基礎的・基本的学習内容の習得とそれらを活用した課題解決能力の育成を促す。また、指導方法の工夫改善の取組や家庭と連携した取組を支援する。
取組状況	

○教育課程課題検討委員会（第1回学力向上対策会議）7/16

本年度の具体的な取組内容

①全学校で自己採点を実施：設問別の正答率、誤答の傾向を把握

②チャレンジテストの効果的な活用：学力向上Webシステムを活用し道内の状況と比較検討

③小中連携教育の促進：学力調査結果の共有・中学校区内における授業参観等の実践交流

④家庭学習の推進：家庭学習の手引きの家庭配布・早寝早起き朝ごはん運動の推進

⑤オール北海道で目指す目標の推進

⑥読書活動の推進：**読書を奨励し、読解力を高め、学力向上をめざす**

学校図書館の貸出率の向上・「朝読・家読」運動の推進・市立図書館・ボランティアとの連携

○教育課程課題検討委員会（第2回学力向上対策会議）11/21

・平成２５年度全国学力・学習状況調査の登別市の結果について

・各学校での学力向上対策の交流(グループ協議)　①学習規律　②ノート指導　③家庭学習

・北海道の学力向上対策について・・・・胆振教育局義務教育指導班指導主事

○平成２５年度までの全国学力・学習状況調査の市内の状況

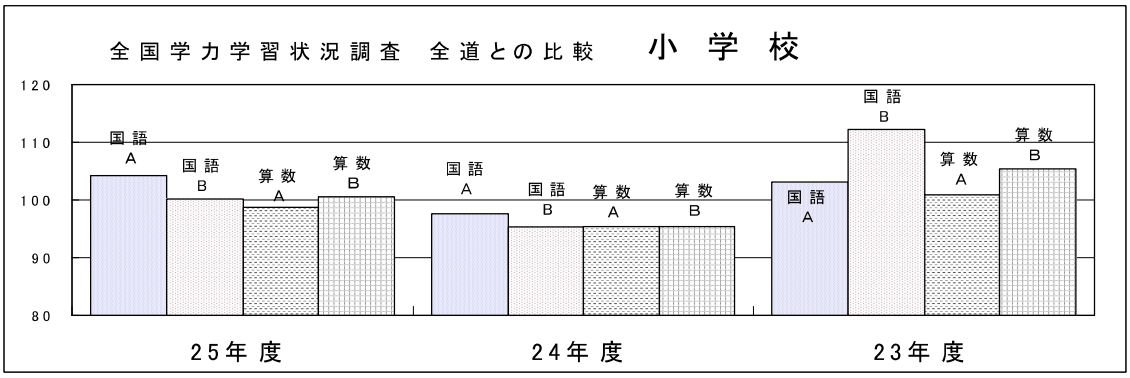
⑴全道平均を100とした時の登別市の正答率の状況

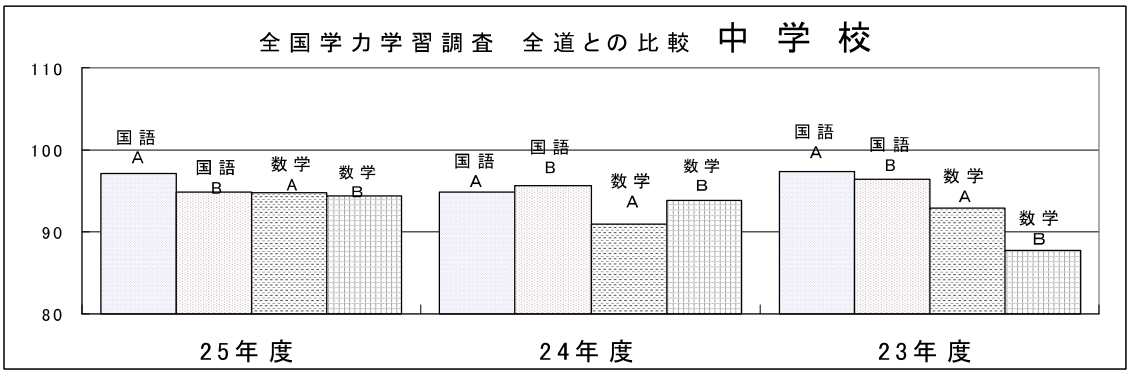
小学校　・国語Ａは、全道平均だけでなく、全国平均を上回ることができた。

・算数Ａは、全道平均を下回り、基礎問題に課題がみられた。

中学校　・調査で全道平均を上回るものはなかったが、数学は、年々改善している。

・学校間での差が大きいことが課題である。



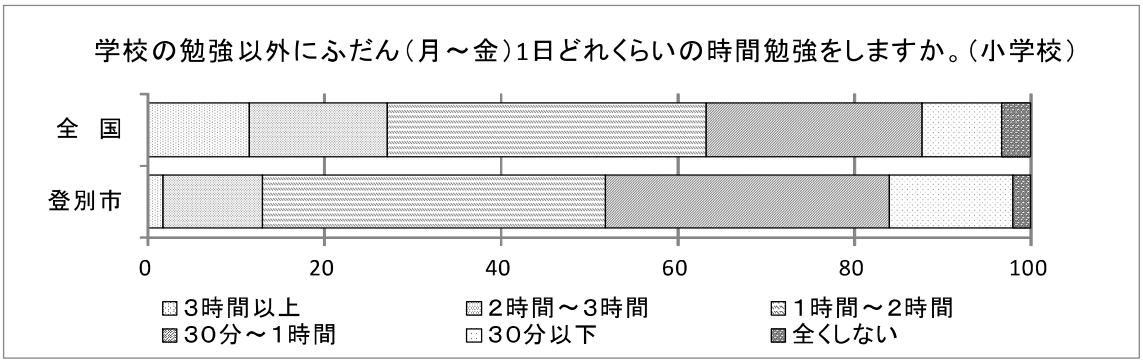


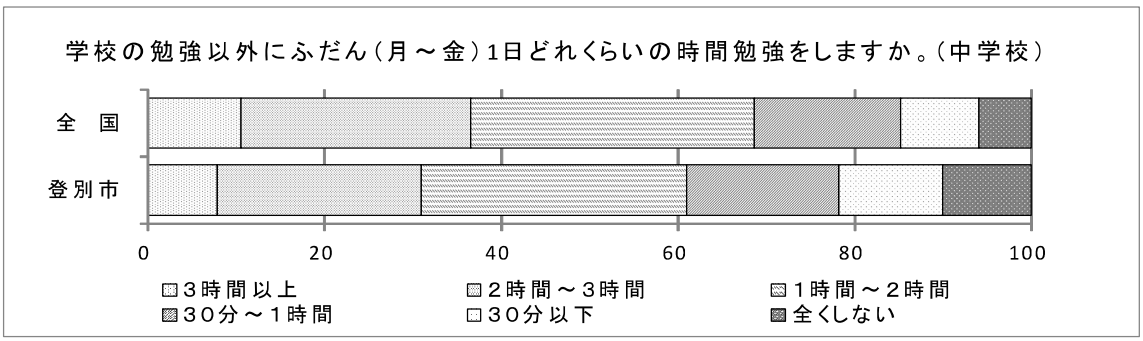
⑵児童生徒の質問紙による実態

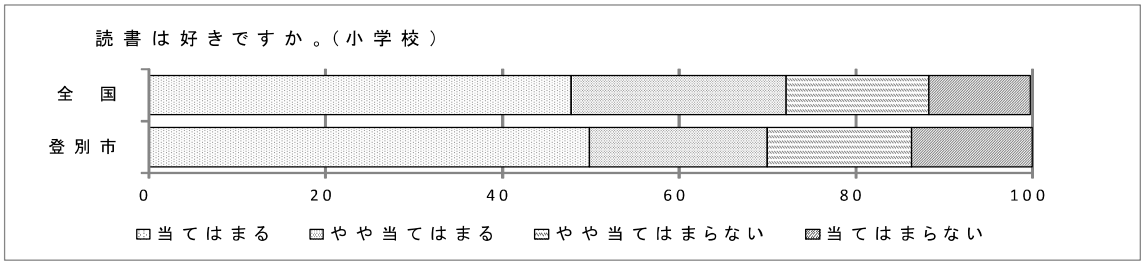
・家庭での学習時間が全国と比して短く、小学校では、１時間以上の学習で１５％の差が見られる。また、中学校の２０％以上の生徒が、家庭学習３０分以内と回答している。。

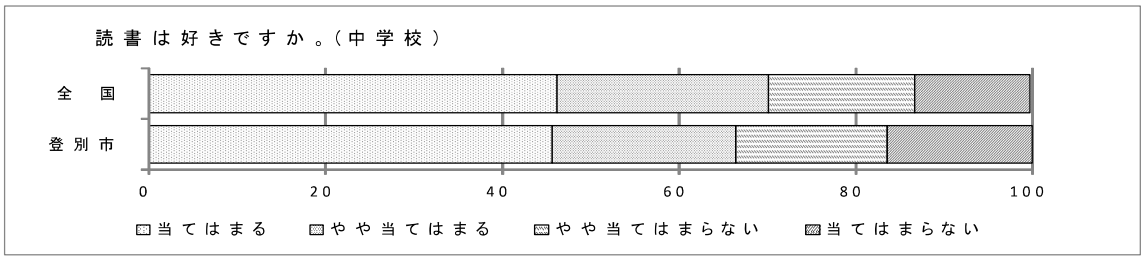
・読書を全くしない児童・生徒の割合が全国に比して高い。

（グラフ資料　平成２５年度全国学力学習状況調査より　小学校６年生 423 人　中学校３年生 373 人）





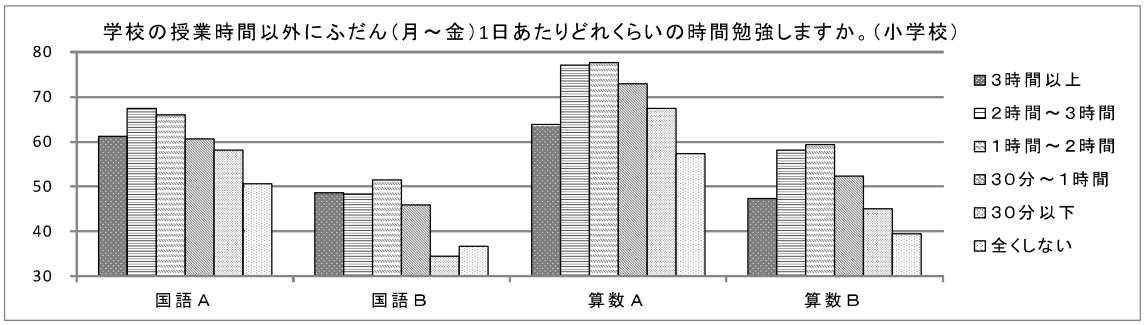


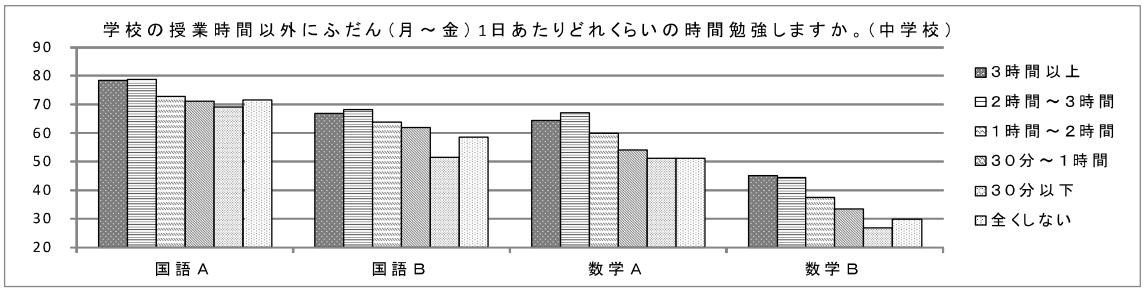


○学習時間と正答率（クロス集計結果から）

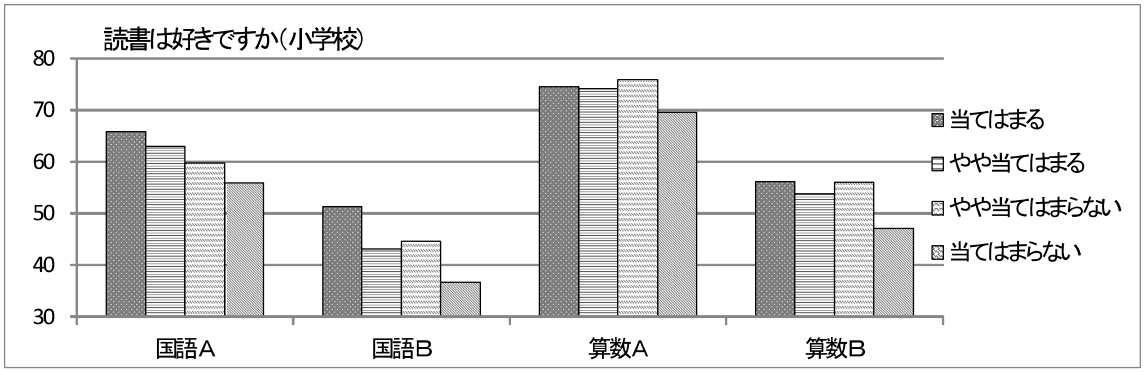
国語・算数ともに、家庭学習時間が長いほど正答率が高くなっている。

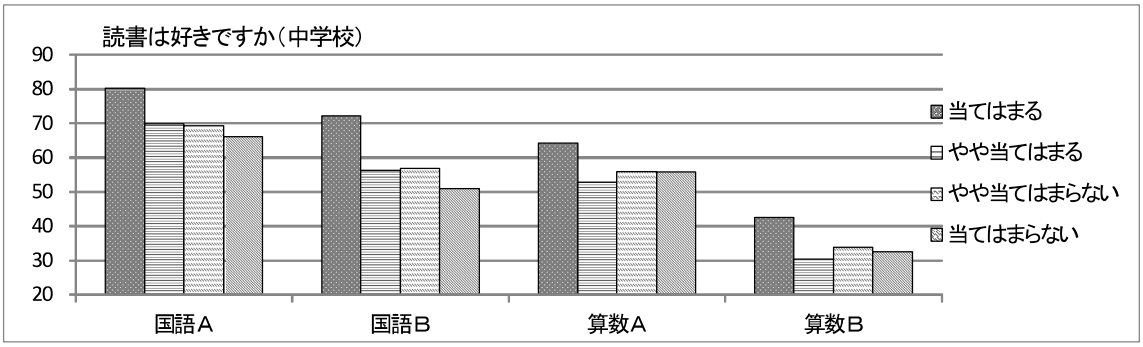
○読書好きと正答率





「家でふだんどれくらいの時間読書しているか」の問いでは、正答率と読書時間に密接な関連は認められず、本のジャンル・内容など、読書の質が問われている。





○平成25年度　長期休業中（冬休み）学習サポート実施状況

学校名	名　称	期　日	時　間	対 象	教 科	参加	内　容
幌別小	冬季チャレンジ学習	12/26、27	9:00～11:00	4,5,6年	国語・算数	90名	ﾁｬﾚﾝｼﾞﾃｽﾄ・冬休みの課題
鷲別小	ひなわしチャレンジ講座	12/26,27	10:00～11:30	4,5,6年	国語・算数	84名	ﾁｬﾚﾝｼﾞﾃｽﾄ・個別指導
富岸小	冬休み学びサポート	12/26,12/27	10:00～11:30	5,6年	国語・算数	160名	ﾁｬﾚﾝｼﾞﾃｽﾄ・補充問題
登別小	ウィンタースクール	12/24.25.26	9:10～11:30	4,5,6年	国語・算数	179名	ﾁｬﾚﾝｼﾞﾃｽﾄ・独自問題
青葉小	冬休み学習サポート	12/25.26,27	9：30～11：30	4,5,6年	国・算・理	71名	ﾁｬﾚﾝｼﾞﾃｽﾄ・過去問題
若草小	若草学びタイム	12/26、27	10:00～11:45	2～6年	国語・算数	100名	短文・漢字指導・四則計算
幌西小	冬休み学習サポート	12/26，27	9:00～10:40	4,5,6年	算数	100名	ﾁｬﾚﾝｼﾞﾃｽﾄ・自作プリント
幌東小	チャレンジスクール	12/26，27	9:30～11:20	全学年	国語・算数	80名	基礎・基本の内容
幌別中	冬季休業講習会	12/24～26,27	8:40～11:30	全学年	5教科	95名	市販ワーク 分野別総復習
鷲別中	冬休み学習サポート	12/24,25,261/7,8,9	9：00～12：00	全学年	5教科	90名	自作プリント等
緑陽中	冬休み学習会	12/26,27 1/6～1/9	9:00～12:00	3年	5教科	希望者	入試問題、プリントなど
西陵中	冬休み学習サポート	12/24,251/8,9,10	9:00～11:009:	全学年	5教科	130名	1.2学期の復習　履修内容
登別中	冬休み学習会	12/24～26	00～11:00	全学年	5教科	180名	基礎内容・受験対策

評　　価	市内の小中学校において、全国と比べて基礎的・基本的な内容を活用する力に課題が見られることや学校間や学級内の学力に差があることなど、これまでの学力・学習状況調査の結果から明らかになった課題を解決するために、胆振管内アクションプランの視点である「学ぶ意欲をはぐくむ」「活用する力を高める」「学習習慣を身に付ける」ことを柱とする学力向上対策に取り組むことができた。 また、アクションプランの発展期として、これまでの取組だけではなく、読書活動の充実など新たな対策を交流することができた。 各学校の学力向上担当者が集まる課題検討委員会（学力向上対策会議）では、全国学力・学習状況調査の自己採点の活用、オール北海道３期の取り組み状況の交流を進め、学校での学力向上対策としての授業の指導方法、指導体制の工夫改善など「学力向上プラン」の実践的検証を進めることができた。
今後の方向性	市教委内に新たに学習支援室を設け「学習支援専門員」を配置し、各学校への練習問題の配布や学校支援本部事業の地域別コーディネーターの協力を得ながら、基礎的、基本的な学習内容の定着をめざした「課外算数教室」の設置など、学校、家庭、地域が連携した取組を推進し、全国学力調査において市内平均が全国平均と同等以上をめざす。

項　　目	4　特別支援教育
点検内容	家庭や地域との連携を図り適切な就学指導に努めるとともに、介助員の配置や特別支援教室の整備、トイレの改修など、学校の実態に応じた支援に努める。
取組状況	**○市内小中学校の特別支援学級の状況** 小学校：知的 5学級 14名／自閉情緒 8学級 26名／肢体 2学級 3名／合計 15学級 43名 中学校：知的 4学級 7名／自閉情緒 3学級 8名／肢体 2学級 2名／合計 9学級 17名 担当教員 31名／介助員 6名／学習支援補助員 15名 **○登別市特別支援教育コーディネーター研修会**　8/26　登別市市民会館 講師：北海道特別支援教育センター　視覚障害教育室長　森田 浩司　氏 テーマ：障害の特性とその教育的対応の在り方について 参加者：市内小中学校・のぞみ園・保育所・幼稚園・教育委員会職員　44名 **○登別市特別支援教育振興協議会　研修会** 第１回研修会　7/25　若草小学校　１０名参加 講師：北海道特別支援教育センター　山内 功 氏　テーマ：WiscⅢ実技 第２回研修会　1/9　若草小学校 講師：登別市役所保健福祉部　俵 充 氏　テーマ：療育手帳・福祉制度 **○特別支援学級作品展・・・・・・・・10月26日（月）～31日（金）** 内　容：作品を通した交流により間接的に思いを感じたり伝えようとする態度を育成し、コミュニケーション能力の向上を図るための作品を通した交流を進める。 主催者：登別市特別支援教育振興協議会 参　加：市内小学校７校　中学校４校（特別支援学級設置校11校） **○特別支援教育懇談会・・・・・・10月30日（水）** 内　容：登別市内の障がい者団体と教育委員会が市内小中学校の特別支援教育のあり方について意見交換を行う。 参　加：登別市障がい者福祉関係団体連絡協議会：２名 肢体不自由児者父母の会：２名　　手をつなぐ育成会：３名 登別市ことばを育てる親の会：３名 評　価：特別支援教室視察の感想、特別支援教育の現状、質問事項に対する回答などについて率直な意見交換を行うことができた。
評　　価	就学に関する指導では、一人一人の子どもの状況に応じて、関係機関と密接な連携を図り情報を収集するとともに、保護者との面談を通して保護者の思いや願いを聞き取りながら適切に取り組むことができた。 また、道の担当者が講師となる特別支援コーディネーター研修会に、初めて、幼稚園、保育所の関係者の出席をいただくことができ、連携した取組を進めることができた。
今後の方向性	肢体不自由児学級がある学校の協力を得て、市内施設に設置されていた階段昇降機の実証テストを行ったところ、安全性が確かめられたことから、次年度、中学校２校に導入することとした。 市内に在住し特別支援学校に在籍する児童生徒を対象に、地域の学校で体験学習できる「交流学習」の実施を進める。

項　　目	5　連携教育
点検内容	「幼保・小・中連携協議会」を設置し、「情報の共有」と「子ども同士の交流」、「教職員間の交流」など各種事業に取り組む。また、各小学校に新入学児童の学校生活をサポートする「生活支援員」を配置する。
取組状況	

平成２５年度の幼稚園・保育所と小・中学校の連携事業

○日常の情報交流について

事　　案	発信元	内　　容
流行性疾病による学級閉鎖	学教G	・学校名・学年・罹患率・欠席者数
気象警報等による緊急対応	学教G･学校	・暴風雨雪警報・注意報発令時：市、学校区の対応
不審者情報・凶悪事件	社教G･学校	・警察・胆振教育局からの情報：市、学校区の対応
行事案内	学　校	・年間行事予定・学芸会･運動会･卒入学式案内
学校だより	学　校	・月１回作成　１部配布
教育ふれあいウィーク案内	学教G	・事業一覧（掲示用）　10/29～11/1
教育委員会広報	学教G	・教育行政全般の活動報告

○指導者･子どもの交流について

幼保･小･中連携協議会	幼保小中	7/18登別市幼保・小・中連携協議会 ○出席者：幼稚園長･市子育てG･校長会代表･教育委員会 ○内容：連携協議会設置要綱確認・25年度の取組
	幼保小	10/29「幼･保･小」実務担当者会議 出席者：幼教諭４名 保育士４名 小学校教諭７名市教委４名 ･日常から子どもを指導している職員が、就学前、就学後の実態や課題について、情報交流、意見交換を行った。
１日体験入学	全小学校	2月：幼稚園・保育所児の小学校入学体験　指導者参観
幼小中合同避難訓練	登別地区	9/20津波合同避難訓練
総合的な学習の時間	登別地区	幼保小中地域連携「地域学校保健委員会」
家庭科	鷲別中	10/2･7･10保育体験　３年生　鷲別保育所
総合的な学習の時間	登別中	10/31職業体験学習　２年生　コロポックルの森
家庭科	登別中	10/24保育体験　　３年生　コロポックルの森
家庭科	西陵中	11/13職業体験学習２年生　白菊幼稚園・富士保育所
幼稚園視察	若小･市教委	2/20白菊幼稚園視察
保育所視察	教頭会	10/15鷲別地区３校教頭参加　職業体験と併せて視察

○就学にかかわる連携について

事 業 名	担 当	内　　容
研修事業	学教G	○特別支援教育コーディネーター等研修会 演題:みんなと育む特別支援教育　講師:道特セン職員 市内参加者：小13名　中7名　のぞみ園・保10名　幼11名
巡回教育相談（道特セン）	学教G	8/26~8/28　相談者：保育所5名･幼稚園5名･小学校8人
就学指導委員会 9月～12月	学教G	○適正就学に向けた取組 ・委員の幼稚園･保育所訪問観察･検査、担当者との懇談 ・諮問：11/20　答申：12/18（全委員出席） ・総合検査：11/22　検討審査：12/4・12/5・12/6・12/9
入学時簡易検査	学教G 全小学校	○１０月実施　日程等の情報提供　10/9鷲小･10/10青小 10/11幌小･10/15登小･10/17西小･10/17富小･10/22東小･10/25若小10/25
1日体験入学	全小学校	○２月　各小学校で実施　日程等情報提供 幼稚園・保育所関係者の参加（保護者説明会）
新入学児童合同引き継ぎ	幼･保･小	○3/25幼保･小実務担当者会議（就学時引き継ぎ）

		参加者：幼稚園４施設 保育所４施設 小学校８校 室蘭市内幼稚園７施設　　計５０名

評　　価	「幼保･小･中連携協議会」を立ち上げ、本年度の実施目標である情報交流だけでなく、幼保・小の職員の交流や児童生徒の幼稚園・保育所訪問などに取り組むことができた。３月の新入学児童合同引き継ぎでは、市内だけではなく、市外の幼稚園からの参加を得ることができ、一人一人のきめ細かな引き継ぎを行うことができた。
今後の方向性	次年度の実施目標「職員の交流」を推進するため、授業参観、学校視察等を一層計画的に実施する。

項　　目	**6　いじめ･不登校問題**
点検内容	学校、家庭、関係機関との連携を図り、情報共有と的確な実態把握、迅速かつ適切な対策に取り組み、その解消に努めるとともに、子どもの意欲や興味・関心を引き出す「体験教室」、学習支援を行う「適応指導教室」など、学校復帰を目指した取組の充実に努める。
取組状況	**○登別市生徒指導研修会　いじめ防止フォーラム** 日　時：平成25年11月26日　場所：幌別中学校 テーマ：望ましい人間関係づくりを学校ぐるみで 参加数：小学校92人　中学校90人計182人 **○全国生徒会サミット　～いじめ撲滅宣言～** 日　時：平成25年9月24･25日 会　場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：幌別中学校生徒会長 **○どさんこ☆子ども全道サミット**　胆振西部会場 日　時：平成25年10月26日　　場　所：室蘭工業高校 内　容：いじめ・ネットトラブル根絶メッセージコンクール表彰 いじめ問題について各市町の小中高の代表者による交流 参加者：幌別西小学校児童会役員・西陵中学校生徒会役員

○不登校出現件数･いじめ認知件数の推移

不登校出現件数の推移（病欠以外の欠席累計３０日以上）

	H21	H22	H23	H24	H25
小	5	9	6	7	8
中	19	28	30	26	25
計	24	37	36	33	33

いじめ認知件数推移の状況

	H21	H22	H23	H24	H25
小	5	18	27	19	26
中	30	28	5	50	22
計	35	46	32	69	48

○SSW(スクールソーシャルワーカー)活動状況

活 動 日	月・水・金の５時間(10:30～16:15)
活動内容	支援児童生徒　小学校12人　中学校17人
問 題 別	不登校17件　児童虐待4件　発達障害3件　その他5件
支援内容	学校62件　家庭9件　関係機関5件　その他1件

○SC(スクールカウンセラー)活動状況　配置校:西中･鷲中･緑中　派遣回数115回　派遣時間402時間

相談者	不登校	いじめ	暴　力	友人関係	教師との関係	親子関係	進路指導	性の悩み	その他	合　計
児童生徒	91	31	3	43	0	6	3	0	26	203
保護者	57	4	4	4	3	26	0	0	5	103
教職員	34	13	4	0	73	7	0	0	6	137

評　　価	不登校・いじめ防止のための具体的な教職員研修会を実施することができた。また、全国、全道規模のいじめ防止サミットに当市の児童生徒が参加し、いじめ防止の意識を高めることができた。
今後の方向性	いじめ防止対策推進法が施行され、学校の設置者や学校が講ずべき基本方針が示されたことを受け、３月までに各学校で「いじめ防止基本方針」を策定した。今後は、学校、家庭、地域と連携し、実効性のある取組を進める。

項　　目	7　豊かな心と健やかな体の育成
点検内容	命を大切にする心や倫理観、「規範意識」などをはぐくむ道徳教育を推進するとともに、人や自然、社会との関わりを通して、人間性を豊かにするボランティア活動や自然体験など「体験活動」の充実を図る。
取組状況	

○各学校での主なボランティア活動の状況

幌別小学校	学級園を中心に栽培活動を行う。春、夏に児童による花の移植を実施する。
幌別東小学校	校外班による校区の清掃活動に取り組んでいる。
鷲別小学校	児童会が企画し、地域の空き缶拾いやゴミ拾いを行っている。
富岸小学校	全校で奉仕活動を行っている。
青葉小学校	世代間交流･ふるさと農園活動･牛乳パックやリングプルの回収に取り組んでいる。
若草小学校	美化委員会を中心にリングプルや古切手の回収を行っている。
鷲別小学校	児童会が企画し、地域の空き缶拾いやゴミ拾いを行っている。
幌別西小学校	児童会の活動として、リングプルやペットボトルキャップの回収を行っている。
登別小学校	リングプルやペットボトルキャップの収集活動に取り組んでいる。
登別中学校	校下の清掃奉仕活動により、地域の環境美化に取り組んでいる。
緑陽中学校	ボランティア部を中心に、校舎清掃、花壇整備を実践している。富岸子育てひろばやケアハウスアンデルセンの丘で幼児、高齢者とのふれあい活動を行っている。
幌別中学校	「まごころ防災ボランティア部」を立ち上げ、災害時に自分を守る知識、要支援者への支援・介助、学校が避難所なったときの協力をめざしている。
鷲別中学校	生徒会でペットボトルキャップの回収を行っている。ボランティア部が校舎内外の清掃だけでなく、地域の清掃活動にも協力している。

○「思いやりの心を育てる人権教室」　講師：登別市内の人権擁護委員

実施校：鷲別小学校、青葉小学校、若草小学校、富岸小学校

○「中学生人権作文コンテスト」　西いぶり人権啓発活動ネットワーク会議　応募校：緑陽中・西陵中

評　　価	各学校の状況に合わせて、子どもたちにとって身近な問題の解決につながる活動としてリサイクルなど体験的なボランティア活動に取り組むことができた。また、法務局や地域の人権擁護委員会が開催する事業に参加し、子どもの人権意識を高める取組を推進する学校が増えている。
今後の方向性	自分の人権の大切さとともに他の人の人権の大切さを認め、相互に尊重し合う人権感覚を学校教育の中において培うことは、いじめ防止の観点からも重要である。今後一層の体験的な活動を通して心を育てる教育の推進を図る。

項　　目	8　体力向上
点検内容	学校における体力づくりを支援するとともに、日常的、継続的に体力向上が図られるよう啓発する。小学校のスキーや中学校の柔道の授業は、登別スキー連盟や登別柔道連盟などの協力を得て、安全に実施できるよう支援する。
取組状況	

○平成25年度全国体力･運動能力、運動習慣等調査結果（実施時期：平成２５年６月～７月）

小学校　5年男子

	実施数	身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)
全国	543,077	138.9	34.0	16.6	19.5	32.7	41.4	51.4	9.4	152.1	23.2
北海道	21,286	139.5	35.4	17.3	18.7	32.3	39.6	43.9	9.7	150.7	23.6
登別市	199	139.8	35.3	16.7	19.7	34.5	36.8	41.9	10.1	151.0	22.8
H21登別	221	139.0	35.8	17.0	20.0	36.5	36.8	41.5	9.9	148.3	26.3

小学校　5年女子

全国	520,547	140.1	33.9	16.1	18.1	36.9	39.1	39.7	9.6	144.6	13.9
北海道	20,657	140.8	35.0	16.9	16.7	36.5	36.9	32.0	9.9	142.5	13.9
登別市	190	141.2	35.5	16.1	16.8	39.2	35.7	30.7	10.4	142.2	13.7
H21登別	220	141.4	36.3	16.2	16.4	40.6	33.5	32.3	10.1	139.9	14.9

中学校　2年男子

	実施数	身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)
全国	498,292	159.6	48.6	29.2	27.6	43.1	51.1	393.9	85.0	8.0	193.7	21.0
北海道	20,140	161.1	50.5	29.8	26.5	41.5	48.8	414.8	78.0	8.2	193.7	20.7
登別市	184	161.0	50.7	29.6	26.9	41.7	51.2	396.0	82.5	8.2	188.8	19.9
H21登別	217	161.1	51.2	28.7	24.7	40.3	45.5	429.9	68.4	8.4	187.6	19.0

実施1校　実施４校

中学校　2年女子

全国	474,639	154.8	46.8	23.8	23.0	45.1	45.3	292.7	57.2	8.9	166.2	13.0
北海道	19,494	155.3	47.3	23.4	20.6	43.5	42.2	313.4	47.3	9.2	160.9	12.2
登別市	174	155.5	48.6	23.9	20.6	41.1	43.3	301.2	44.9	9.1	166.7	11.9
H21登別	199	154.9	48.6	21.7	18.5	39.5	39.2	325.3	42.0	9.3	155.9	11.2

実施2校　実施４校

○小学校スキー授業の実施状況

	実施日	５年	６年	引率	合計	指導者	スキーレンタル
幌別小学校	2月18日	61名	59名	5名	125名	9名	108名
幌別西小学校	2月14日	73名	63名	9名	145名	8名	123名
幌別東小学校	2月24日	16名	18名	4名	38名	6名	31名
鷲別小学校	2月10日	34名	41名	10名	85名	6名	68名
若草小学校	1月28日	65名	59名	6名	130名	5名	112名
富岸小学校５年	2月21日	89名	―	7名	96名	5名	81名
富岸小学校６年	2月17日	―	94名	8名	102名	7名	85名
合　　計		338名	334名	49名	721名	46名	608名

○小学校スキー授業引率者研修会

平成26年１月8日　サンライバスキー場　引率予定教員16名参加

講師：登別スキー連盟所属指導員　２名

評　　価

○全国体力・運動能力等調査の分析

【小学校】

・体格（身長、体重）は、男女ともに全国・全道平均を上回る。

・総合評価で、全国と比して運動能力が「著しく高い」児童の割合が低く、「著しく低い」割合が高い。

・男女ともに反復横跳び、20m シャトルラン、50m走の俊敏性や走力などの運動能力が著しく低い。

【中学校】

・男女ともに21年度と比して大幅に改善している。

・体格（身長、体重）は、男女ともに全国平均を上回る。

・女子において、反復横跳び、20m シャトルランなど俊敏性や走力を求められる運動能力が著しく低い。

○スキー授業アンケート　児童調査結果　実施日：平成26年1･2月　回答総数585人

対象校：幌別小、幌西小、幌東小、鷲別小、若草小、富岸小

	スキー授業は楽しかったですか。			「楽しかった」「まあまあ楽しかった」と答えた人:どんなところが楽しかったですか。					スキー授業の時間はどうでしたか。			スキーをまたすべりたいと思いますか。		
選択肢	楽しい	あまり楽しくない	わからない	スキーを教えてもらった	リフトに乗ることが出来た	スキー場で滑れた	友達と滑れた	その他	もっと滑りたかった	ちょうどよかった	長くて疲れた	滑ってみたい	学校で行くなら滑ってもよい	滑りたいとは思わない
総数	496	71	18	111	240	233	307	27	464	91	29	501	60	23
割合	84.8%	12.1%	3.1%	19.0%	41.0%	39.8%	52.5%	4.6%	79.3%	15.6%	5.0%	85.6%	10.3%	3.9%

○スキー授業アンケート　保護者調査結果　実施日：平成26年1･2月　回答総数388人

対象校：幌別小、幌西小、幌東小、鷲別小、若草小、富岸小

質問	お子さんは、スキー授業を楽しいと感じていましたか。			学習の前に、家族で、スキーの練習をしましたか。			スキー授業の実施にあたり、用具等を購入しましたか。(複数回答可)						今後もスキー授業を続けた方がよいと思いますか。		
選択肢	楽しい	あまり楽しくない	わからない	サンライバ	他のスキー場	練習なし	板	靴	ウエア	手袋	帽子	その他	続ける	どちらでもよい	必要ない
総数	359	21	8	78	37	274	9	9	66	91	53	51	276	97	14
割合	92.5%	5.4%	2.1%	20.1%	9.5%	70.6%	2.3%	2.3%	17.0%	23.5%	13.7%	13.1%	71.1%	25.0%	3.6%

今後の方向性

○学校における体力づくりの推進

・体育授業の工夫・改善を図る。

・休み時間や放課後を活用した体育活動の充実を図る。

・運動部活動の充実・冬の体力づくりの推進を図る。

○家庭と連携した生活習慣や運動習慣の改善

・早寝・早起き・朝ごはんなど基本的な生活習慣の定着を図る。

・家庭で継続して運動に取り組むなどの運動習慣の確立を図る

○地域と連携した体力向上の取組の推進

・体育授業や運動部活動における地域人材の活用を図る。

項　　目	9　子どもの健康づくり
点検内容	「食育」や「薬物乱用防止教育」など健康教育の推進と「フッ化物洗口」等の拡充に努める。子どもたちに共同生活の中で、基本的生活習慣や学習習慣の定着を図る通学合宿を実施する。
取組状況	

○フッ化物洗口の実施状況

学校名	開始	対象数	実施数	割合
幌別小	H18	347人	332人	96%
幌別西小	H21	336人	325人	97%
幌別東小	H18	84人	81人	96%
青葉小	H20	339人	312人	92%
鷲別小	H22	276人	269人	97%
若草小	H18	353人	340人	96%
登別小	S54	184人	184人	100%
富岸小	H24	523人	461人	88%

学校名	開始	対象数	実施数	割合
登別中	H23	102人	99人	97%
幌別中	H25	223人	153人	69%
西陵中	H25	116人	78人	67%
緑陽中	H25	248人	166人	67%
鷲別中	H25	181人	110人	61%

※幌中・西中・緑中・鷲中は２月より実施
※西中・緑中・鷲中の対象は１,２年生

○平成25年度「食育」のための栄養教諭派遣状況

学校名	月日	曜	学年	教科・内容等	月日	曜	学年	教科・内容等
幌別西小	9/4	水	4	食品の栄養素別分類等	―	―	―	―
若草小	6/27	木	5	家庭科（五大栄養素）	10/29	火	2	学活（楽しい食事）
登別小	11/1	金	2	学活・給食について	11/1	金	5	学活・栄養素のはたらき等
青葉小	9/11	水	2	学級活動	11/27	水	4	学級活動
鷲別小	5/27	月	3	給食指導：１年生	7/2	火	4	給食指導（参観授業）
富岸小	10/16	水	6	学級活動	10/8	火	2	家庭科（または学級活動）

○勤務校での指導状況

幌別小	11/20	１年	給食を楽しく食べよう	9/5	４年	朝ご飯のよさ・働きを見直そう
	9/10	２年	何でも食べよう　元気に大きくなろう	11/26	５年	バランスを考えた食事をしよう
	12/20	３年	好ききらいをしないで食べよう	3/12	６年	1年間の給食を振り返ろう
幌別東小	6/26・7/12・9/26　12/21・2/26・3/8　　全校児童 ・おやつについて考えよう　・お箸を上手に使おう　・食べ物パワーをたくさんもらおう					

評　　価	平成２５年度中に、新たに４校の中学校でフッ化物洗口が開始されたことにより、市内すべての小中学校で実施できるようなった。食育については、栄養教諭を市内各学校に派遣し、学校給食を通して「食べること」の大切さを学ばせることができた。
今後の方向性	児童生徒に生涯にわたり健康で充実した生活を送る能力を身に付けさせるため、各教科や特別活動などを通して、心身の健康・安全全般についての知識や態度を習得させる。また、家庭や地域との連携した取組を推進する。

項　　目	**10　読書活動**
点検内容	子どもたちが多様な読書活動や、主体的、意欲的な学習活動に取り組めるよう学校図書館の一層の活用を促すとともに、新たに専任司書を配置し、その機能を発揮できる環境づくりに努めた。
取組状況	

○学校別読書活動調査　（平成２５年７月実施）

学校名	読み聞かせや図書紹介	図書貸出･返却業務	図書購入	図書ボランティア	図書館運営の課題･改善点
幌別小	図書委員会が中心となり、読み聞かせや新刊図書を紹介	図書委員童と図書ボランティアが、主に休み時間に貸出と返却業務を行う。	図書担当教員が窓口となり担任の希望に添う形で購入。予算に合わせ読書感想文指定図書を購入	読み聞かせなど	司書の配置による図書を学習活動に活用できる環境づくり。専門家による図書購入や整理方法の助言
	･図書ボランティアの読み聞かせ(月1回)。朝	休み時間に図書委員会の	年2回購入。教職員、児童の図書	･月1回の読み聞	図書室のスペースが狭い。図書専用の

幌西小	読書の実施、新入学時に担任、6年生による読み聞かせ。廊下掲示板に毎月司書教諭選書本の紹介。図書室だよりの発行(月2回程度)	児童が貸出・返却業務をしている。	委員会、図書ボランティアの希望、司書教諭が学校図書館に必要だと思う本を購入	かせや季節の飾り付け、図書室の清掃や本の整理	机椅子の購入。読書教材の授業の実施読書感想文用の本を選書し書き方を指導したい。
幌東小	低学年への読み聞かせを実施 新刊図書の紹介、「お勧めの本コーナー」の設置	司書教諭は担任も兼ねているので、必ずしも図書室につけるわけではない。	図書流通Cの見本市を活用し購入、学校図書システムの操作、管理方法などの引き継ぎが課題	図書室の装飾	文学や伝記など、長い読み物を読ませたい。本の紹介や読み聞かせを多くし、児童の図書への関心を高めたい。
青葉小	年3回、異学年読書交流を実施 休み時間に長が読み聞かせを実施	図書委員が主に休み時間の貸出・返却の実施	・教職員に希望をとって、それをもとに執行	・読み聞かせ	読書活動の啓発。図書ボランティアによる選書アドバイス
鷲別小	担当教諭が児童の委員会活動と連携して、図書紹介を行う。	図書委員が中心に、休み時間に業務を行う。	前・後期に分け、授業で必要な本や課題図書を中心に購入	本の整理、補修。 図書室の整頓。	低学年への本の貸出 小学生新聞の授業活用
若草小	図書ボランティア、PTAによる読み聞かせ、図書紹介を計画的に実施	児童会活動の一部として、本の貸出・返却を実施	計画的(前後期)に執行	図書室環境整備、新刊紹介、読み聞かせ活動	図書貸出システム(パソコン、バーコードリーダー)の増台
登別小	司書ボランティアとともに、紙面にて図書紹介	休み時間に図書の貸し出しと返却を実施	図書担当教諭を中心に図書購入	読み聞かせ、図書室の環境整備	
富岸小	学年ごとにホール等で朝の読み聞かせを実施、新刊の掲示板を設置し新刊コーナーを設け陳列	休み時間に、図書委員が貸出・返却等を実施	1学期中の購入	朝読書は、月1回程度、各学年保護者の自主的な取組を実施	多目的ホールが図書室のため読書環境が悪い。学年ごとにボランティアを募り、組織的に実施回数・日時を決める。
幌別中	読み聞かせを年に数回実施していた	昼休み	1学期中の購入	貸出、推薦図書の選定、読み聞かせの計画	生徒の読書量が増えるような取組をしたい
西陵中	掲示板やコーナーを設けて新着図書やオススメ本を紹介	・図書の貸出・返却 毎月学級文庫の入れ替え	年度の早期に購入を行うようにしていく。	無	「図書室の読書環境の向上(書架の工夫、増設)
鷲別中	図書紹介は、委員会活動でのポスター作りや昼の放送、図書便りで実施	昼休み20分間のみ委員会活動で実施	毎年年度末になっている。今年度は、早期に取り組む	悩み相談	ラベルのない本、未登録の本の処理。古い本の扱いや図書室に入りきらない本の扱い。
登別中	図書委員会(生徒会活動)での、図書紹介を実施	月・水・金曜日の昼休みに貸出	計画的に執行している。	無	生徒減による図書委員会の活動の見直し、図書の整理(冊数・分野等)と破棄本作業
緑陽中	図書委員会活動の中で各学年ごとに委員が読み聞かせや新刊を紹介	毎日昼休みに、利用開放、学年ごとに利用日を設定し、該当学年の図書委員が貸し出し、返却業務を担当	年3回に分け図書を購入、職員、生徒の希望調査を行い、興味や関心の高い本を選定	囲碁や将棋	図書利用生徒を増やす活動の推進。生徒による読み聞かせの実施

○学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議および児童書展

1，ねらい　　読書に関する指導や学校図書館整備に関する活動などについて情報交換や交流を図り、市内各小中学校の学校図書の充実および児童・生徒の学校図書館活用の活性化を図る。

2，日　時　平成２５年６月２１日（金）午後3時～5時

3，参　加　①小・中学校司書教諭及び学校図書担当者15名　②市内学校図書ボランティア22名
③市立図書館2名　児童室担当者2名　④学校教育グループ担当者3名

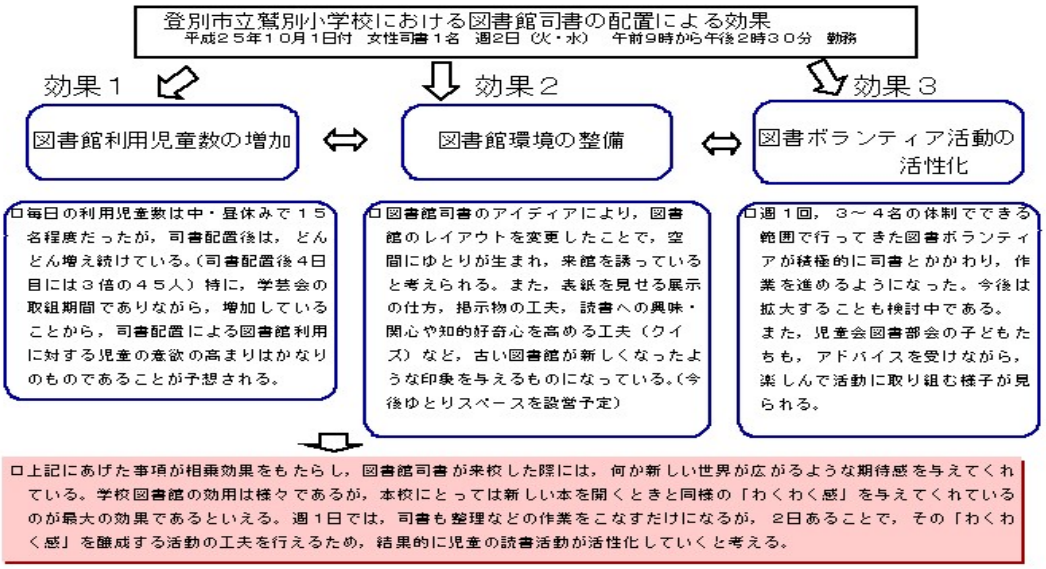
4，内　容

(1)　児童書展　(会場：市民会館大会議室)

TRC（図書館流通センター）の小・中学校向けの調べ学習用図書・辞典・事典・学校図書館用推奨図書の展示と販売

（2）　学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議　（会場：市民会館中ホール）
①講演「第２次登別市子ども読書活動推進計画と図書館の学校支援について」登別市立図書館長
②学校図書館運営の実情・事例発表　　小学校＝若草小学校　中学校＝幌別中学校
③グループ別交流　　※市立図書館員と学校教育グループ担当者も参加。

○図書館司書が配置された学校からの報告



○市立図書館職員と学校司書連絡会議　　日時：3/12　10:30～　場所：若草小学校図書室
出席者：図書館長・児童図書担当職員２名　学校司書２名
内容：子ども読書活動推進計画と本年度の活動　学校図書館の現状などを意見交換する。

評　　価	平成２５年度の市内の学力向上対策の柱の一つとして読書活動を取り上げたことで、朝読書、冊数やページ数などの明確な目標を立てた取組が実施された。 「学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議」を初めて実施し、各校の取組の交流や市立図書館館長の講話などを行うことができた。
今後の方向性	新たに司書を配置した学校では、子どもが図書室に訪れる回数が増えたり、貸し出し数が大幅に増加したことから、今後は、配置する学校を増加させ、読書活動の一層の推進を図る。

項　　目	**11　防災教育の充実**
点検内容	学校の危機管理マニュアルの更新を求めるとともに、家庭や地域と一体となった防災教室や避難訓練等を実施して、子どもたちの危機回避能力を高める防災教育の充実を促す。
取組状況	

登別中学校	5/2避難訓練（地震・火災）　9/20避難訓練（津波）　幼保小中合同避難所まで歩く
西陵中学校	10/29地震避難訓練（全校で第一避難所まで避難）
幌別西小学校	9/17津波避難訓練（全校で避難所入り口まで避難）
若草小学校	9/10津波避難訓練（全校で第一次避難所室蘭自動車学校）まで避難
幌別小学校	9/9津波避難訓練　全校で、避難場所幌別中学校まで歩いて避難する
幌別東小学校	5/24　地震・津波避難訓練　ドミトリー（工学院寮）まで避難（全校） 10/28　地震・津波避難訓練　幌別中まで避難（全校）

緑陽中学校	5/9地震避難訓練全学年　地震、津波発生時の避難の仕方
登別小学校	9/20地震・津波避難訓練（幼保・小中の合同避難訓練、避難場所の時代村社宅まで徒歩避難）
青葉小学校	9/10避難訓練（地震・津波）全校で避難場所まで歩く 10/29北海道シェイクアウト　全学年参加
鷲別小学校	7/9地震対策避難訓練：全学年 10/29北海道シェイクアウト：全学年
鷲別中学校	6/5避難訓練(地震･津波想定)　室蘭総合自動車学校上まで走って避難

評　　価	津波災害の危険の高い海岸に近い学校では、１次避難所まで実際に歩く取組が継続して実施されている。また、登別地区では、「幼保･小･中」合同での高台までの避難訓練が行われた。
今後の方向性	災害時に危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができるようにするための防災教育を計画的、継続的に実施する。

項　　目	**12　通学路の安全確保**
点検内容	昨年の通学路における緊急点検を受け、交通安全施設の整備等に取り組む。また、子ども１１０番の家の拡充、青少年センターによる巡回、地域と連携した登下校の見守りなど、防犯対策の充実に努める。
取組状況	

○登別市通学路交通安全プログラムの策定について

教育委員会通学路安全推進協議会を２６年度に開設するため、関係機関と調整し了承を得る。

通学路の安全を確保するためのＰＤＣＡ
【Plan】　通学路の危険箇所の確認・通学路安全推進協議会の開催・合同点検の実施
【Do】　対策メニューの実施　危険箇所の整備・交通安全指導の実施
【Check】　危険箇所対策の検証・評価
【Action】　対策内容の改善充実

○緊急合同点検で対策が必要とされた通学区の危険箇所（対策検討協議会で検討した対策メニュー）

対策メニュー	幌小	西小	東小	青小	鷲小	若小	登小	富小
道路の構造(歩道がない､幅員が狭い､見通しが悪い等)	5	2	1	0	1	1	2	0
交通安全施設(横断歩道､ガードパイプ等)･規制	1	0	1	0	0	1	0	0
そ　の　他	0	0	0	0	0	1	0	0
合　計　数	6	2	2	0	1	3	2	0

○平成25年度までに実施した対策メニュー

ハード面＝歩道の整備・安全施設の設置	２箇所
ソフト面＝交通指導・交通規制	１４箇所
ハード、ソフト両面の整備	２箇所

○子ども110番スタディちゃんの家の状況（通学路等での不審者対策）

中央町:58件	常盤町:20件	登別東:35件	富士町:17件	富岸町:26件	美園町:41件
若草町:56件	中登別:2件	登別温泉:8件	登別本町:12件	幌別町:39件	鷲別町:35件
新川町:11件	片倉町:8件	柏木町:12件	青葉町:1件	カルルス:1件	千歳町:14件
緑町:5件	若山町:14件	新生町:47件	栄町:9件	桜木町:16件	

※平成２５年度末の設置状況487件（３カ所が廃止され、７カ所が新たに設置された）

評　　価	道々上登別室蘭線の中央通り掛け替え工事に伴う通学路の安全確保に対して、関係機関と協議し、一部、通学路を変更するなど適切な対応を進めることができた。
今後の方向性	登別市交通安全プログラムの準備が整ったことから、次年度は、警察、道路管理者、学校、教育委員会による「通学路安全推進協議会」を立ち上げ、子どもの安全確保に努める。

項　　目	**13　情報教育**
点検内容	情報教育推進協議会と連携し「情報安全教室」の開催など、利用上のモラルやマナーを高める取組を進める。また、いち早く災害や不審者などの情報を提供する「西いぶり生活情報メール配信サービス」の学校、家庭に対する啓発活動を推進し、登録者の増加に努める。
取組状況	**○登別市情報教育推進会議**　日時：7/29　富岸小：コンピュータ室 参加者：各学校推進委員16名　校長会・教頭会代表１名 室蘭市、伊達市など西胆振６市町の定住自立圏連携事業が進める保護者向け「メール配信システム」の導入を促すため、情報教育推進員を対象とした研修会を実施する。学校から、災害、不審者情報などをいち早く、確実に伝える方法として有効な手段であることから普及をめざしている。すでに、実施している富岸小学校を会場に、学校から保護者への周知文書、登録方法、活用内容などの発表を行う。その後、参加者の携帯電話を使い実際に登録し、配信などの演習を行う。 **○メール配信システム実施状況** ・実施校・・・・・・・・・・・４校 富岸小　登録数＝351/404世帯　　幌別中　登録数＝193世帯 登別小　登録数＝108/132世帯　　幌西小　登録数＝124世帯 ・次年度実施予定校・・・・・・５校　（幌東小教職員12人登録） ・未定・・・・・・・・・・・・４校

○情報安全教室実施状況

登別小学校	2/25ケータイ安全教室（56年）ＮＴＴより講師
緑陽中学校	7/18「非行防止講演会」全学年（中１～中３） 講師：室蘭警察署署員 内容：スマートフォン、携帯電話の使い方について
幌別東小学校	8/21　いじめ・ネットトラブル根絶！メッセージコンクールへの参加　６年生 7/24　「ちょっと待って!ケータイ＆スマホ」（文部科学省）　５,６年生 8/30　「ケータイ、インターネットの利用に関する我が家のルール」（北海道）　4,5,6年生
幌別小学校	12/18「携帯マナー、非行防止教室」６年生　講師：室蘭警察署職員
登別中学校	5/15「ネット講座」対象：全学年　講師：マルチメディア振興センター職員
西陵中学校	2/4「ケータイ安全教室」　対象：全学年　講師：室蘭警察署職員
青葉小学校	7/18「防犯教室」対象5年生、講師室蘭警察署署員
鷲別小学校	11/1「携帯安全教室」対象:5･6年　講師:NPO法人イーエルダー
鷲別中学校	8/26「ケータイ安全講習」対象:全学年　講師:ＮＴＴ職員
幌別中学校	NTTの講習会資料をもとに携帯電話の利用方法の講習会を開催

評　　価	情報安全教室を警察署や電話会社などの協力を得て、すべての中学校で実施することができた。また、小学校においても、６年生を中心に関係機関が発行する資料をもとにネットマナーなどの学習に取り組むことができた。 情報教育推進協議会で、「メール配信システム」の設定、活用方法について、先進的な取組をしている富岸小学校の協力により、実際に参加者の携帯電話に配

	信するなど実演を交えた研修に取り組むことができた。
今後の方向性	次年度も「メール配信システム」の実技講習会を再度実施し更なる普及を図る。また、インターネット上のトラブルが問題となっていることから、情報モラルを高める指導の徹底と家庭への啓発に努める。

項　　目	14　学校施設の耐震化
点検内容	富岸小学校体育館及び登別小学校体育館の耐震補強工事と登別小学校及び登別中学校校舎の耐震診断を実施する。鷲別小学校については、実施設計に取り組み、建設工事に向けた準備を進める。
取組状況	

○登別市立小中学校の校舎・屋体の状況

①耐震診断の状況

	学校名	建物区分(棟)	構　造	階	床面積(㎡)	建築年	備　　考
1	幌別西小学校	校舎1	RC造	3	1,500	S55	H26年度耐震(2次)診断予定
		校舎2	RC造	3	3,732	S54	H26年度耐震(2次)診断予定
		校舎3	レンガ造	2	1,399	S31・33・35	H26年度耐震(2次)診断予定
		校舎4	RC造	2	936	S47、S48	H26年度耐震(2次)診断予定
		校舎5	RC造	2	257	S48	H26年度耐震(2次)診断予定
2	登別小学校	校舎1	RC造	2	2,718	S45・46	H25年度耐震(2次)診断実施
		校舎2	RC造	2	1,082	S52	H25年度耐震(2次)診断実施
3	鷲別小学校	校舎1	レンガ造	2	1,919	S32	H22年度耐力度調査実施
		校舎2	RC造	2	1,511	S40・43	H22年度耐震(2次)診断実施
		校舎3	CB造	2	343	S37	H22年度耐力度調査実施
		屋体1	S造	1	878	S47	H21年度耐震(2次)診断実施
4	富岸小学校	校舎1	RC造	3	3,515	S53	H24年度耐震(2次)診断実施
5	幌別東小学校	校舎1	RC造	2	2,529	S45	H26年度耐震(2次)診断予定
6	青葉小学校	校舎1	RC造	3	3,356	S51	H22年度耐震(2次)診断実施
7	幌別中学校	校舎1	RC造	3	3,146	S50・51	H26年度耐震(2次)診断予定
		校舎2	RC造	2	1,905	S36・40・49・.51	H26年度耐震(2次)診断予定
8	鷲別中学校	校舎1	RC造	3	3,061	S37・42・43.47	H21年度耐震(2次)診断実施
		校舎3	RC造	3	744	S48	H23年度耐震(2次)診断実施
		校舎4	RC造	3	916	S51	H23年度耐震(2次)診断実施
9	登別中学校	校舎1	RC造	2	1,083	S38	H25年度耐震(2次)診断実施
		校舎2	RC造	2	341	S38・47	H25年度耐震(2次)診断実施
		校舎3	RC造	3	989	S47・52	H25年度耐震(2次)診断実施
		校舎4	RC造	1	360	S38	H25年度耐震(2次)診断実施
		校舎5	RC造	2	53	S47	H25年度耐震(2次)診断実施

②耐震化済み・新耐震基準等の棟

	学校名	建物区分(棟)	構　造	階	床面積(㎡)	建築年	備　　考
1	幌別小学校	校舎1	RC造	2	4,394	H6	新耐震基準
		屋体1	SRC造	1	1,442	S53	H24耐震化済
2	若草小学校	校舎1345	RC造	3	3,908	S46・50・53	H14耐震化済
		校舎2	RC造	3	850	S58	新耐震基準
		屋体1	S造	1	1,176	S54	H14耐震化済

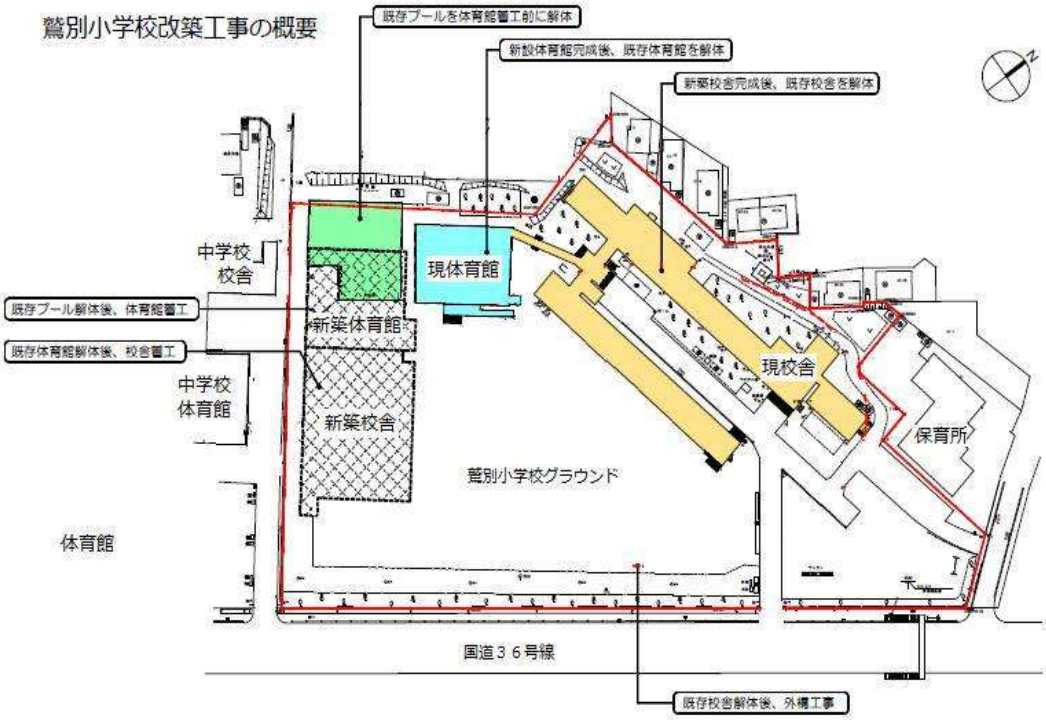
3	幌別西小学校	屋体1	S造	1	1,063	S58	新耐震基準
4	鷲別小学校	校舎4	RC造	2	367	S48	H22年度耐震(2次)診断耐震性あり
	登別小学校	屋体1	S造	1	878	S47	H25耐震化済
5	富岸小学校	校舎2	RC造	1	745	S53	H24年度耐震(2次)診断耐震性あり
		校舎3	RC造	3	506	S61	新耐震基準
		屋体1	S造	1	975	S53	H25耐震化済
6	幌別東小学校	屋体1	S造	1	1,042	S61	新耐震基準
7	青葉小学校	屋体1	S造	1	1,017	S52	H23耐震化済
8	幌別中学校	屋体1	S造	1	1,237	H7	新耐震基準
9	鷲別中学校	校舎2	RC造	2	760	S54	H23年度耐震(2次)診断耐震性あり
		屋体1	S造	1	879	S45	H22耐震化済
10	登別中学校	校舎6	RC造	2	338	S59	新耐震基準
		屋体1	S造	1	1,110	S52	H23耐震化済
11	西陵中学校	校舎1	RC造	4	4,826	S48・49・52・55	H11耐震化済
		屋体1	S造	2	1,126	S49・51	H24耐震化済
12	緑陽中学校	校舎1	RC造	4	4,632	S57	新耐震基準
		屋体1	S造	1	1027	S57	新耐震基準

○鷲別小学校改築工事（平成26年～平成29年）

	校　　舎	体　育　館
構　　造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造	鉄筋コンクリート造
階　　数	４階建て	２階建て
床 面 積	5,361.53㎡	1,118.09㎡
建築面積	1,865.39㎡	1,193.04㎡
屋上までの高さ	約15.65m（海抜約21m）	約11.85m（海抜約17m）

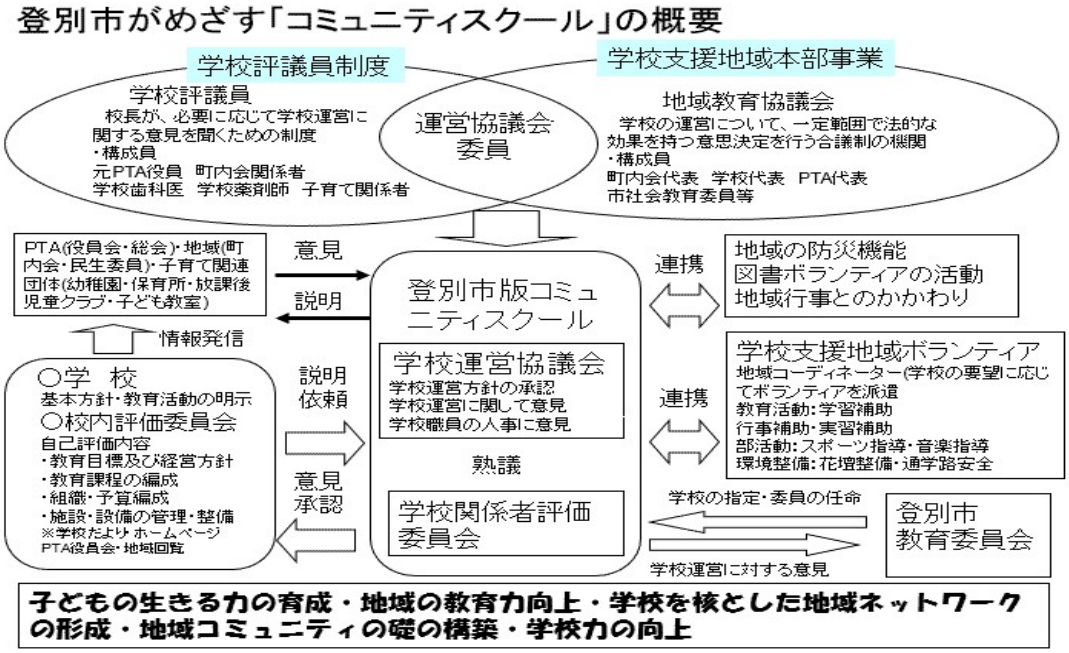


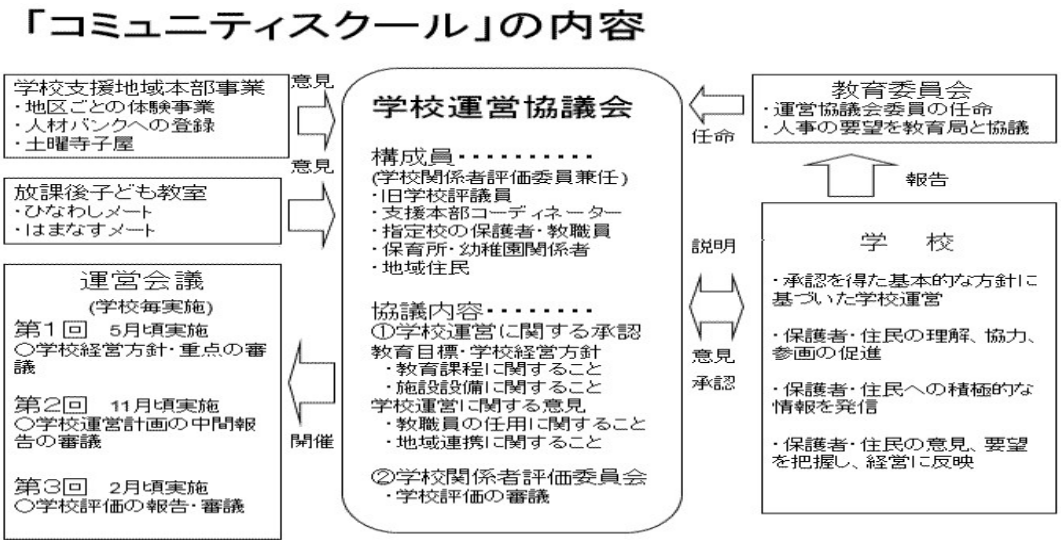
○工事の概要と校舎の位置



評　　価	市内小中学校の体育館は、地域の避難所としての機能が求められていることから、優先的に耐震改修工事に取り組んできたが、本年度、富岸小学校と登別小学校の体育館の改修に取り組み、鷲別小学校を除き、すべての体育館の改修を終了させることができた。 また、実施設計の終えた鷲別小学校は、５月に、学校の機能や工事の概要について地域住民説明会を実施し理解を得ることができた。
今後の方向性	次年度に、幌別中学校、幌別西小学校、幌別東小学校の耐震診断を実施することで、市内すべての学校の耐震診断を終えることから、工事の順番など、今後の耐震化整備方針を検討する。 鷲別小学校については、実施計画に基づき、耐震化優先度の高い体育館の改築工事に取りかかる。

項　　目	15　コミュニティスクール
点検内容	家庭と地域の教育力を高め、その機能を十分に発揮できる支援体制を構築するため、地域の皆さん方が学校運営に参画して協働で児童生徒を育てる「学校運営協議会制度＝コミュニティスクール」の導入に取り組む。
取組状況	





○校区別教育懇談会

少子高齢化社会、学校の老朽化など登別市の教育を取り巻く様々な問題を見据えた今後の学校のあり方を検討するため、中学校区毎に懇談会を実施し、地域の実情と課題について、学校関係者や地域住民等と情報共有や意見交換を行う。

○校区別教育懇談会の参加状況

	中学校区	開催日	学校評議員	ＰＴＡ	支援本部	町内会	教職員	合　計
1	緑陽中学校区	9/19	１１人	６人	１人	４人	８人	３０人
2	鷲別中学校区	9/20	６人	６人	１人	２人	６人	２１人
3	西陵中学校区	9/27	５人	４人	２人	３人	４人	１８人
4	登別中学校区	9/30	２人	４人	３人	１人	５人	１５人
5	幌別中学校区	10/1	７人	６人	２人	４人	９人	２８人
	合　計		３１人	２６人	９人	１４人	３２人	１１２人

評　　価	市内各学校にコミュニティスクールを導入するために、登別市立学校管理規則に「学校運営協議会」を位置づけるとともに、設置要綱を策定することができた。また、地域の協力や理解が不可欠なことから、中学校区ごとに教育懇談会を実施することができた。
今後の方向性	次年度より、準備の整った学校から、「運営協議会」を立ち上げ、地域や家庭、学校の実態について、十分に「熟議」することから始め、事業ありきではなく、地域が一体となって子どもたちをはぐくむ「地域とともにある学校づくり」を目指す。

項　　目	**16　第４次社会教育中期計画**
点検内容	「新しい公共」の考えのもと、公共的役割を担うＮＰＯなどの団体やそれを支える人材を育成するため、人づくりを柱とした「第４次社会教育中期計画」に沿った各種事業の推進を図る。
取組状況	

○第４次社会教育中期計画の目標と平成２５年度の実績

①青少年教育＝これからのまちづくりを担う青少年の健全な育成と地域教育力の向上

学校支援本部事業	各中学校区 通年	コーディネーターを配置し土曜日に体験活動を実施 幌別中地区=ふれあい農園、音楽を聴く会 鷲別中地区=昔の遊び体験、もちつき 緑陽中地区=親子もちつき体験、スポーツチャンバラ 西陵中地区=親子ふれあいスポーツ 登別中地区=さけの稚魚放流、花壇の整備
少年の主張大会	緑陽中6/3	中学生による意見発表大会　市内６校１２名出場
放課後子ども教室	鷲小・東小	放課後に子どもが安心して活動できる居場所づくり ひなわしメート＝106名登録　はまなすメート＝51名登録
子ども110番の家	通年	地域住民・商店の協力による子どもの駆け込み場所　487件設置
成人祭	市民会館	実行委員による企画・運営　出席者338/576人　H26.1.12
通学合宿	ネイチャーセンター	小学5･6年生を対象に共同生活を通して生活習慣の向上を図る。 １回目5/21～5/25　２回目10/29～11/2　３回目11/12～11/16４回目12/3～12/7　のべ182名の参加

②成人教育＝幅広い年齢層に対応した学習活動の推進と自主学習の支援

登別ときめき大学	262名登録	市教委の基礎コースと各団体の講座を連携コースとした生涯学習 基礎コース：8講座　連携コース:87講座
市民マイプラン講座	293名登録	サークル等が企画した講座や学習会を支援する 利用団体＝１４団体（文化・工芸団体）
三市合同女性国内派遣研修	3名派遣	女性リーダーの資質向上及び地域における女性団体活動の活性化を目的に、西いぶり定住自立圏事業　8/21～24　埼玉県嵐山町

③高齢者教育＝自主的な学びの支援と地域社会への学習成果の還元を促進する。

登別ときめき大学	262名登録	成人教育と重複

④全世代教育＝世代の枠を越えた学習や地域活動の支援と新しい公共を担う人材の育成

登別ときめき大学	262名登録	成人教育・高齢者教育と重複
市民マイプラン講座	293名登録	成人教育と重複
年越しは手打ちそばで教室	22組	ボランティアグループＳＬＧを講師として伝統的食文化である「そば」の打ち方を体験し学ぶ。

評　　価	青少年教育では、地域の各種団体の協力や学生ボランティアなどの協力を得て、様々な事業を推進することができた。また、成人・高齢者教育では、多様化する学習ニーズに応えるための様々な事業が実施され、会員相互の研鑽と交流を図ることができた。
今後の方向性	第４次基本計画の理念である市民一人一人が生涯を通じて、いつでも、どこでも自由な学習機会を選択して学ぶことにより、教養を積み上げ、生涯学習に対する興味･関心を高めるとともに、習得した知識や技能を発揮できる機会の充実に努める。

項　　目	**17　家庭教育**
点検内容	「家庭教育学級」の開設や「親子体験教室」の充実、さらに、国の「家族の時間づくりプロジェクト」に協賛し地域ぐるみで家族団らんの時間を創出する環境づくりに取り組む。
取組状況	

○家族の時間づくりプロジェクト

本年度から親子のコミュニケーションの場や機会を増やすことを目的に、国土交通省の観光庁が推進する「家族の時間づくりプロジェクト」に取り組む。市内の全小・中学校が暦にない独自の３連休以上の休みを創出して、『親子で有意義な時間を過ごす』という北海道では初の試みで、各校の連休期間には、各団体等の協力のもと市内のテーマパークや公共施設を利用する際の割引特典を設け、家族の語らいのほか、思い出や「きずな」づくりなど、家族揃って楽しめる環境を整える。

学校別の実施状況

学校名	実施期間	備　考
登別小、登別中	平成２５年１０月１１日(金)～１０月１４日(月)	４連休
鷲別小、鷲別中	平成２５年１０月２５日(金)～１０月２７日(日)	３連休
幌別小、若草小	平成２５年１１月　２日(土)～１１月　５日(火)	４連休
幌別東小	平成２５年１１月１６日(土)～１１月１８日(月)	３連休
富小、青小、緑中、幌小、西中、幌中	平成２６年　２月　８日(土)～　２月１１日(火)	４連休

市内施設の利用状況

市内小中13校	テーマパーク	市公共施設	スキー場	合　計	利用率
保護者世帯数	832世帯	96世帯	276世帯	1204世帯	―
児童生徒数	1194人	133人	379人	1706人	47.3%

※利用率は、10/1現在の児童生徒数3607人に対しての割合

※テーマパーク＝マリンパーク・くま牧場・登別伊達時代村　※スキー場＝サンライバスキー場

※公共施設＝市民プール、岡志別運動公園、ネイチャーセンター、郷土資料館等

○家庭教育学級の実施内容

ﾘﾘｰ文化幼稚園	9/11音楽を楽しもう　ヤマハミニコンサート　講師：ヤマハ音楽教室 10/10ジェルキャンドル作り　講師：寺島恵美氏(ワクワク工房)
聖心幼稚園	7/12バター作り　講師：酪農館の職員の方々 9/13緑風園への訪問　園児の発表・高齢者との交流 10/22エアロビクス体操　講師：大森芳暁氏 1/29スイーツデコ作り　講師：冨川澄子氏
白菊幼稚園	6/6へるしークッキング　講師：健康推進Ｇ、食生活推進委員会 7/16実技アウトドア　講師：白菊幼稚園長 9/30陶芸教室　講師：佐藤彰氏 1/30ヨガ　講師：広瀬淑子氏

白雪幼稚園	7/11ふれあい祭　10/30ハロウィンパーティー　12/12お餅つき
登別小学校	8/22工場見学(カルビー製菓千歳工場) 10/29クリスマスツリーつくりを学ぶ　新田知子氏（フラワーショップ青葉） 12/12調理実習　講師：登別市健康推進Ｇ 3/3スポンジテニスとフロアカーリング　講師：登別市スポーツ推進委員
幌東小学校	12/7スポンジテニスとフロアカーリング　講師：登別市スポーツ推進委員 2/26小物を自分らしく飾ろう　講師：冨川澄子氏(リボン工房「すみれ」)
幌別小学校	5/28雑巾ぬい・給食試食会　講師：半田ゆかり氏 7/9スポンジテニスとフロアカーリング　講師：登別市スポーツ推進委員 8/27 10/11　陶芸作品作り　講師：津村千鶴子氏（健千窯） 11/13料理教室　講師：半田ゆかり 2/12教育講演会・給食試食会　講師：幌別小校長
幌西小学校	7/11スポンジテニスとフロアカーリング　講師：登別市スポーツ推進委員 10/2マカロンタワー制作　講師：三上アキ氏 11/8本格イタリア料理の調理　講師：中山雅一氏
青葉小学校	6/27へるしークッキング教室　藤野小誉子氏（市役所健康推進Ｇ） 9/18羊毛クラフト制作(エコリン村) 11/18あて布作り・給食試食会
富岸小学校	7/18ジェルキャンドルづくり　講師：寺島恵美氏 9/25自然満喫＆野外活動に挑戦しよう！　講師：モモンガクラブ 11/7スポーツレク「スポンジテニス」　講師：登別市スポーツ推進委員 2/27ミニ講演会　講師：中谷通恵氏
若草小学校	8/28施設見学（望月製麺所） 10/9ハーブ料理(韓国版)教室　講師：磯野みゆき・清水まさみ氏 12/12ヨガでリフレッシュ　講師：川西三奈氏
鷲別小学校	9/3･10/15陶芸教室　講師：津村千鶴子氏（健千窯） 12/4料理教室　　講師：大谷京子氏（料理塾「おおたに」）

○家庭教育学級作品展　11/11～11/14　登別市民会館　７学級８３人　１３７点

○家庭教育学級学習会　7/17

テーマ：「早ね早おき朝ごはん運動」について　講師：胆振教育局社会教育指導班主査

○家庭教育学級講演会　8/21　テーマ：「ネットワーク社会における人間関係」　東洋大学教授：海野 敏 氏

評　価

○家族の時間づくりプロジェクト（保護者アンケートから　回答数1542件）

このプロジェクトに賛同するか

賛同する	805件	52%
賛同しない	192件	12%
どちらでもない	511件	33%
回答なし	34件	2.2%

連プロジェクトの来年の継続を希望しますか

希望する	644件	42%
希望しない	259件	17%
どちらでもよい	617件	40%
回答なし	22件	1%

連休をどのように過ごしましたか

家で過ごした	518件	34%
市外にでかけた	172件	11%
施設利用券を活用した	561件	36%
その他	213件	14%
回答なし	78件	5%

休期間休暇を取得できたか

取得した	537件	35%
できなかった	474件	31%
休暇申請はしなかった	407件	26%
その他	101件	7%
回答なし	23件	1%

○家庭教育学級（運営委員アンケートから）

・(軽スポーツ)参加者が多く一人一人が楽しむことができました。

・(社会見学)伝統文化の藍染めのよさや歴史を知ることができました。
・（料理教室）「鍋でご飯を炊く」実習を行い、大停電後でみなさんから高い評価を受けました。
・(工芸教室)子どもの工作にやらせてあげたいという方もいました。

今後の方向性

○家族の時間づくりプロジェクト

・日程の市内統一化(最低限中学校区で同一日とする)を図る。
・保護者の勤務先に考慮し近隣市町との連携を図る。
・年休取得ができるような企業等への啓発活動を図る。

○家庭教育学級（運営委員アンケートから）

・家庭教育学級は親たちが学んだことを家庭に持ち帰り、その楽しさや大切さを家族や子どもたちに伝え、実践していくことが醍醐味だと思います。せっかく楽しめる地域の人の役立つことをさせ　ていただける場なので、例年通り･･･ではなく、もっとみんなが参加してみようかなと思える企画　を出していくべきだと思います。
・自分がしてみたいことがある方は役員をやってみるといいのかなと思います。参加される方は、一人でもチャレンジしたいことがあれば、知り合いも増えて楽しい時間を過ごせると思います。

項　　目	18　芸術･文化･スポーツ活動の振興
点検内容	芸術・文化に接する機会の充実や市民の個性ある活動への支援、身近なスポーツに接することができる生涯スポーツを推進する。また、平成２６年度で終了する「文化振興基本計画」と「スポーツ振興基本計画」の策定に着手する。
取組状況	

○文化活動＝文化振興基本計画の推進

西いぶり定住自立圏文化事業	7/7　612名	○3市3町で行う芸術文化の鑑賞事業 「ピアノの万華鏡」音楽家：青島広志　ピアニスト：豊田裕子
サークル展	10/29～11/1	○市民会館で活動しているサークルの紹介と作品展 ５団体出展　パネル参加２団体
文化財保護事業	4/13～4/23 7/31　17名 2月　86名	○縄文出前講座　鷲小・登小・西小・青小　計202人　６年生 ○アイヌ文化講座　アイヌの生業 カムイミノって何？ 古式舞踊 ○古文書教室　2/1北海道の歴史資料の解読　2/15･3/1解読に挑戦
郷土資料館事業	5/25 300名 3/7～4/6	○わんぱくサムライ体験 ○はじめまして！平成25年度新資料展
市民が記憶する歴史事業	6ヵ所	○文字にされない歴史の聞き取り調査とその成果の展示等 展示会場：イオン登別店・市民会館　成果パネルは学校へ配布
文化交流館事業	10/5 120名	○のぼりべつ縄文どきどきまつり
文化伝承館事業	SLG	○べこもちづくり、布ぞうきんづくり、包丁とぎ体験

※SLG:郷土資料館を拠点に様々な体験学習の指導や協力などを行うボランティアグループ

○健康づくり･スポーツ＝スポーツ振興基本計画の推進

市民ラジオ体操会	7/27 160名	スポーツ推進委員を講師に､幌小、鷲小で実施
姉妹都市スポーツ交流	7/28 9/15	柔道：登別市　14名交流　水泳：白石市　22名派遣
西胆振６市町小学生スポーツ交流会	5/25 86名	西いぶり定住自立圏構想対象事業 青少年によるスポーツ交流
市民スポーツ・健康フェスティバル	10/6 638名	市内体育施設を会場とした市民スポーツ大会 岡志別の森運動公園：パークゴルフ、ソフトボール、駅伝大会 市民プール：水中玉入れ大会、工学院生によるマッサージ体験
学校体育施設開放事業	10施設	学校体育館を団体・サークルに開放する ※若草小・青葉小は今年度から利用者による自主管理

評　　価	文化・スポーツ振興基本計画に基づいた各種事業に取り組むことができた。学校の体育館開放事業は、自主管理を試行的に一部の学校で実施したが、利用団体の協力により、１年間を通してスムーズな運営が行われた。
今後の方向性	平成２６年度で終了する「文化振興基本計画」と「スポーツ振興基本計画」を、これまでの成果を生かしながら、時代の変化に対応した新たな計画を策定する。また、体育館開放事業の自主管理は、実施上の課題を検証しながら、次年度より、すべての学校で開始する。

項　　目	**19　図書館**
点検内容	生涯学習の拠点として、市民の主体的な学びや読書意欲を高めるための図書資料の収集・提供や図書情報システムの改善などサービスの充実に努める。また、「第２次登別市子ども読書活動推進計画」に沿って、学校、家庭、地域のボランティアと連携し、子どもの読書活動の推進を図る。
取組状況	

○図書館のバリアフリー対策と市内全域サービスの充実

図書館協議会で協議してきたが、「地域情報センター」を26年度8月から図書館分館とすることが決定した。また、鷲別・登別配本所の書架を増設した。鷲別配本所の開館時間を6時までに延長した。

○高齢者向けサービス　大活字本の充実を図った。

○「第2次登別市子ども読書活動推進計画」の取組

「あかちゃんおすすめ絵本コーナー」の設置、「学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議」の開催、「子どもの本の相談室」開設、全配本所に紙芝居を配置した。

○主なイベント等の事業

4/20　「おはなしとパネルシアターと工作の会」講師：おはなしくれよん、伊勢章氏

5/5　「こどもの日の図書館事業」手遊び・昔遊び、おはなし会、こどもアニメ祭り

5/18　ワークショップ「デジカメ写真で絵本つくり」と原画展　講師：小寺卓矢氏(写真絵本作家)

6/21　「学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議」

6/22　「お父さんの読み聞かせ」主催：おはなしぽけっと

7/13　「読み聞かせ初心者クラス」主催：おはなしぽけっと

7/27　「夏休み工作」

7/17～8/11　『図書館を使った調べる学習コンクール』第１５回入選作品展

8/8　「キャンドルナイトと野外映画会」　8/10　「真夏の１６ミリ映画祭」

8/15～29　「第５０回記念登別地獄まつり＆宮城県白石市姉妹都市交流３０年展」

9/14　「大人による大人のための読み語り」主催：おはなしぽけっと

9/1～26　子ども読書活動推進事業「年長児の読書感想画展」　対象：市内幼保　応募２５１作品

9/20　登別カルチャーナイト「Library Cafeへようこそ－英語と日本語による絵本の読みくらべ－」

10/10～31　「新聞でみる登別と北海道のローカル新聞展」道内16紙展示

11/10　第９回図書館まつり　おはなし会や朗読劇、一箱古本市、手話劇、囲碁・将棋教室など　参加：７００名

11/10～17　「マッチのラベル展」登別や室蘭の飲食店のマッチのラベルを展示。

11/16　「一日司書体験」市内小学生2名が一日図書館司書を体験。修了書を交付。

12/7　小・中学生の読書感想文・読書感想画コンクール入賞者表彰式

読書感想文応募：小学校311名・中学校94名の応募　入選：小学校50名・中学校14名

読書感想画応募：小学校29名　入選10名　文集『本は友だち』第39号発行

1/18　「本の修理・装備方法の講習会」

2/8　読み聞かせ研修会：『絵本の眼』講師：高木三千子氏（児童図書相談士）

2/15　地域文化講座『たたら製鉄講座』講師：石崎勝男氏（室蘭登別たたらの会」）

3/15　「高山美香さんのちまちま人形展＆トークショー」展示：3/8～23

○新規事業

・「子どもの本の相談室」（予約制）

・３市図書館の未所蔵資料のインターネットリクエスト開始

・鷲別配本所開館時間延長（午後６時まで）９月から実施

評　　価	・ボランティアの方々や市民からの多数の事業企画をいただき実施した。 ・一年を通し、常時さまざまなロビー展示を行うことができた。 ・昨年度に続き、辞典・年鑑・要覧等の参考資料の更新を行うことができた。 ・全配本所に紙芝居を配置、読み聞かせ用の大型絵本の購入、大活字本の充実を図ることができた。 ・「課題解決型図書館」への取組として「レファレンス記録票」の作成と使用を始めることができた。
今後の方向性	・西胆振広域ネットワークの一層の充実には物流の拡充が課題となっている。 ３市それぞれに事情を抱えているが今後も継続協議する。 ・インターネットを活用したデータベースの導入や電子資料への転換取組を推進する。 ・高齢者や障がい者への宅配サービスを検討する。 ・正規の「ブックスタート」へ移行する。

項　　目	**20　学校給食**
点検内容	地場産の食材を使用した献立の工夫に努めるとともに、衛生管理の徹底を図り、安全・安心な給食を提供する。また、耐震診断を実施し、今後の給食センターのあり方について検討する。
取組状況	

○第４回登別市学校給食展

目　的　　学校給食の意義・役割等について、市民の理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実、発展を図ることを目的とする。

期　間　　平成２５年１０月７日（月）～９日（水）

場　所　　登別市民会館大会議室、エントランスホール

内　容　　①作品展示会　　・給食に関する絵画や標語の作品展　（参加賞）

②試食会（８日）　・地場産品を活用した学校給食メニューを提供

③食育相談所　　・栄養教諭の先生とプチ食育相談

④地元業者紹介コーナー・安全・安心な食品を届けてくれる地元業者の紹介

⑤給食展スタンプラリー

⑥手洗い教室

⑦その他　　・ビデオ上映（給食紹介ビデオ）

その他　　学校給食では、地産地消･地域の食材を知っていただくため、地元事業者等と連携を図り、「のぼりべつ牛乳」をはじめ、前浜で取れた魚等を活用した給食メニューを提供してきました。本年は、「登別の前浜産たらこ」を使ったクリームたらこスパゲティーを提供しました。

登別産を活用した給食実績

H21さら貝・・・・・・・・・シーフードカレー

H22やなぎダコ・・・・・・・・たこのスパゲティ

H23･24のぼりべつ牛・・・・H23(牛丼、キーマカレー)、H24(牛丼、すきやき)

H25前浜たらこ・・・・・・・・たらこスパゲティ

○日本の郷土料理を取り入れた給食の実施（平成２５年度）

月	郷土料理名	地　名
４月	いわし団子汁	千葉県
５月	せんべい汁	青森県
６月	いもたき	愛媛県
７・８月	ぬっぺ汁	茨城県
９月	ひきずり	愛知県

月	郷土料理名	地　名
１０月	おくずかけ	宮城県
１１月	飛鳥なべ	奈良県
１２・１月	おにかけ	長野県
２月	具雑煮	長崎県
３月	うったち汁	佐賀県

○給食センター施設の耐震診断の状況

診断結果＝ゾーン別Is値0.27～0.47　（判定値0.6以上が望ましい）

鉄骨部材の錆が全面的に広がり、一部断面欠損が確認された。今後も供用していくためには、耐力に疑問がある部材については更新が必要と思われる。

また、外壁についてもひび割れや塗装剥がれが確認されたため現状の経年劣化の程度を維持するために補修や定期的な外部塗装の更新が必要となる。

○平成26年度の給食費の額について

近年の石油価格の上昇や原材料の値上げ、消費税率の引き上げなどにより、現在の給食費では栄養基準を十分に満たすことができなくなることから金額の改定を行う。

校　　種	月　　額	年　　額	１食あたり
小　学　校	3,850円→4,160円	46,200円→49,920円	250円→270円
中　学　校	4,600円→4,960円	55,200円→59,520円	298円→322円

評　　価	HACCPに基づく「衛生管理導入の評価基準」の結果、本年度も最高評価の６と判定されるなど安全・安心な給食の提供に努めることができた。 地元産の食材を使った特色あるメニューの提供、市内各校へ訪問しての栄養教諭の授業、給食展の実施など食育の推進などに取り組むことができた。
今後の方向性	衛生管理の徹底に努めるほか、温食に使用している主な生鮮食品の産地や使用する原材料を明示するなど、安心安全な給食の提供に一層努める。 給食センターの耐震診断の結果に基づき、耐震化改修工事による建物の延命を図るか、新築するかなど今後のあり方を検討する。

３ 重点施策の評定結果

	項　　目	点　検　内　容	評定
1	学校の総合的な教育力の向上	教育課程の改善、子どもの学力・体力向上の取組、生活習慣の確立、教員の研修活動、社会教育との連携など、学校の総合的な教育力向上を図る「学校力向上総合実践事業」や「巡回指導教員活用事業」を推進する。	A
2	特色ある教育活動	「知、徳、体」のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指し、子どもたちの発達段階や特性に応じた「特色ある教育活動」を支援する。	B
3	確かな学力向上	学校改善プランに基づき、基礎的・基本的学習内容の習得とそれらを活用した課題解決能力の育成を促す。また、指導方法の工夫改善の取組や家庭と連携した取組を支援する。	A
4	特別支援教育	家庭や地域との連携を図り適切な就学指導に努めるとともに、介助員の配置や支援教室の整備、トイレの改修など、学校の実態に応じた支援に努める。	A
5	連携教育	「幼保・小・中連携協議会」を設置し、「情報の共有」と「子ども同士の交流」、「教職員間の交流」など各種事業に取り組む。また、各小学校に新入学児童の学校生活をサポートする「生活支援員」を配置する。	A
6	いじめ・不登校問題	学校、家庭、関係機関との連携を図り、情報共有と的確な実態把握、迅速かつ適切な対策に取り組み、その解消に努めるとともに、子どもの意欲や興味・関心を引き出す「体験教室」、学習支援を行う「適応指導教室」など、学校復帰を目指した取組の充実に努める。	A
7	豊かな心と健やかな体の育成	命を大切にする心や倫理観、「規範意識」などをはぐくむ道徳教育を推進するとともに、人や自然、社会との関わりを通して、人間性を豊かにするボランティア活動や自然体験など「体験活動」の充実を図る。	B
8	体力向上	学校における体力づくりを支援するとともに、日常的、継続的に体力向上が図られるよう啓発する。小学校のスキーや中学校の柔道の授業は、登別スキー連盟や登別柔道連盟などの協力を得て、安全に実施できるよう支援する。	B
9	子どもの健康づくり	「食育」や「薬物乱用防止教育」など健康教育の推進と「フッ化物洗口」等の拡充に努める。子どもたちに共同生活の中で、基本的生活習慣や学習習慣の定着を図る通学合宿を実施する。	A
10	読書活動	子どもたちが多様な読書活動や、主体的、意欲的な学習活動に取り組めるよう学校図書館の一層の活用を促すとともに、新たに専任司書を配置し、その機能を発揮できる環境づくりに努める。	A
11	防災教育の充実	学校の危機管理マニュアルの更新を求めるとともに、家庭や地域と一体となった防災教室や避難訓練等を実施して、子どもたちの危機回避能力を高める防災教育の充実を促す。	B
12	通学路の安全確保	昨年の通学路における緊急点検を受け、交通安全施設の整備等に取り組む。また、子ども１１０番の家の拡充、青少年センターによる巡回、地域と連携した登下校の見守りなど、防犯対策の充実に努める。	B
13	情報教育	情報教育推進協議会と連携し「情報安全教室」の開催など利用上のモラルやマナーを高める取組を進める。また、いち早く災害や不審者などの情報を提供する「西いぶり生活情報メール配信サービス」の学校、家庭に対する啓発活動を推進し、登録者の増加に努める。	B
14	学校施設の耐震化	富岸小学校体育館及び登別小学校体育館の耐震補強工事と登別小学校及び登別中学校校舎の耐震診断を実施する。鷲別小学校については、実	A

		施設計に取り組み、建設工事に向けた準備を進める。	
15	コミュニティスクール	家庭と地域の教育力を高め、その機能を十分に発揮できる支援体制を構築するため、地域の皆さんが学校運営に参画して協働で児童生徒を育てる「学校運営協議会制度＝コミュニティスクール」の導入に取り組む。	A
16	第4次社会教育中期計画	「新しい公共」の考えのもと、公共的役割を担うＮＰＯなどの団体やそれを支える人材を育成するため、人づくりを柱とした「第４次社会教育中期計画」に沿った各種事業の推進を図る。	A
17	家庭教育	「家庭教育学級」の開設や「親子体験教室」の充実、さらに、国の「家族の時間づくりプロジェクト」に協賛し地域ぐるみで家族団らんの時間を創出する環境づくりに取り組む。	A
18	芸術・文化・スポーツ活動の振興	芸術・文化に接する機会の充実や市民の個性ある活動への支援、身近なスポーツに接することができる生涯スポーツを推進する。また、平成２６年度で終了する「文化振興基本計画」と「スポーツ振興基本計画」の策定に着手する。	A
19	図書館	生涯学習の拠点として、市民の主体的な学びや読書意欲を高めるための図書資料の収集・提供や図書情報システムの改善などサービスの充実に努める。また、「第２次登別市子ども読書活動推進計画」に沿って、学校、家庭、地域のボランティアと連携し、子どもの読書活動の推進を図る。	A
20	学校給食	地場産の食材を使用した献立の工夫に努めるとともに、衛生管理の徹底を図り、安全・安心な給食を提供する。また、耐震診断を実施し、今後の給食センターのあり方について検討する。	A

Ⅳ 点検・評価に関する学識経験者の意見等

平成２５年度教育委員会点検・評価報告に関する意見等

石井　憲一

初めに

登別市教育委員会の点検・評価への意見を求められた事に感謝致しますと共に、責任の大きさを感じているところです。さて、少子高齢化が頗る現実のこととなって進行している現状があります。そして、来るべき登別市の将来を担っていく人材の育成の筋道がしっかりと示されていくことは、地域社会の基本単位である小学校区・中学校区を維持し活性化するためにも重要であると考え、狭量な私見ではありますが意見を述べます。

教育委員会の活動について

教育委員会の会議等の活動は毎月の定例会議における委員の提案・意見の要約が公開されて分かりやすくなった点を評価します。その内容について、上期と下期に分けて会議における議論・意見を読んだ感想としては、10月以降の会議では教育長が掲げた重点施策、特に、新規に掲げられた「情報教育」、「コミュニティスクール」そして前年とは異なる括りなった「芸術・文化・スポーツ活動の振興」等に対する意見が交わされているかどうか明確には示されておりません。日々の事柄とは別に、これら新しい施策について意見交換がなされ行政に反映されることを期待します。

20項目の重点施策について

教育長が年頭に教育行政執行方針において示した点検・評価すべき20項目については、全体的に概ね当初目標を達成しているという点検・評価は妥当であると判断します。

しかしながら、いくつかの項目については次年度への期待も込めて、以下に意見として述べます。

子供たちの学力向上や情操（こころ）と体力の育みは偏に「学校の教育力」に委ねられていると考えますが、その点で実践事業が速やかに進められかつ、成果を上げていることは喜ばしい限りです(重点施策1)。この後はそれらの成果が登別市全体の教育現場に漏れなく活用されて行く事を期待致します。少し矛盾しますが、市全体にあっては学力テストや体力・運動能力測定の結果が改善されているとは言い難く、前年まで掲げられていた「教職員の資質能力向上」というプランが重点施策から外れているのは時期尚早の感が否めません。それぞれの項目に須く関わっているのは理解できますが、常に掲げるべき課題と思います。

学校司書の配置、読書ボランティアの充実、そして図書館運営のソフトウエアが整備されたことが読書教育全体に好感されたことは喜ばしく、登別市の文化度が高まって行く事が期待されます。

幼・保・小・中の連携教育(項目5)が連携協議会設置で一段と進められている事が分かり、少子高齢化の地域社会の活力を高めるための推進力としても期待するところです。技術革新により日進月歩の情報社会では、子どもらを守るためにも絶え間ない知識と知恵の付与が肝要であり、「情報教育」(項目13)が重点施策として再度掲げられたことは喜ばしい限りです。しかしながら、25年度は満足度が低いようであり学校間の格差がなくなる様な施策が求められていると思います。

学校教育と地域社会の関わりがよく論議されたうえで機能分担することは非常に重要な事と思います。その中で、国そして北海道の教育基本計画に掲げられてきましたが未だ道半ばと思われる「コミュニティスクール」を25年度に重点施策として掲げたことは頼もしい限りです(項目15)。学校評議員制度が始まって久しい中、次年度には登別市版コミュニティスクールが実現するとのことであり、実りある形態が出来て行くことを望んで止みません。

この5年間、常なる関心事である「いじめ・不登校問題」(項目6)は当市にあっては穏やかな状況に見えますが決して好転しているとは言い得ず、また「家庭教育学級」(項目17)では学校内での取り組みとは別に家族の時間づくりプロジェクトが始まりましたが、保護者の皆様に対して、その主旨をよく知って頂く手立てを提供することが求められているものと思います。

最後に、重なりますが喫緊の課題と思われる「いじめ・不登校等」問題の解決は「幼・保・小・中連携教育」と大いに関連付けされる側面を持った大切な課題と思っています。当市にあってはこれらの課題を重点施策として結びつけて解決する筋道が得られる事を期待して、25年度の意見の結びと致します。

以 上

平成２５年度　教育委員会点検・評価報告に関する意見等

小塚　順一

１　学校の総合的な教育力について＜特に「体力・学力」面で＞

各学校の教育目標の達成、教育課程の改善が「学力向上」「体力向上」「豊かな心の醸成」など「知・徳・体」すべて網羅されることに直面し、大変な学校経営であると思われます。特に「学力テスト」に関しては、当市でも「学力向上対策室」を立ち上げ取組が強化されつつあると聞き、非常に喜ばしいことと思います。また「体力向上」に関しては、ここ登別の風土・施設等の制約もあり、昨今の児童生徒の外遊び減少などを考慮すると評価は低くなると思います。基本的には、「健康な身体」が重要で、「学力向上」はその次ではないかと思います。市教委では、「健康づくり」という施策もありま

が、もう少し具体的にすることにより「体力向上」関係へもいい影響がでるのではないでしょうか。

２　豊かな心と健やかな体の育成について

「豊かな心」とは何でしょうか。「命を大切にする倫理観」「規範意識を育む道徳教育」等いろいろ言われますが、「豊かな心」を数値化（評価）することは難しいです。社会情勢の変化、家庭・社会教育の問題等考えていくと大変な命題ですが、やはり、基本は「家庭教育」になり、三世代（祖父母・父母・孫）での生活を通し、規範意識を醸成するなど地道なことが考えられます。「世代間交流」「お年寄りとの交流」も一つのいい施策でしょう。「健やかな体」については前述しましたので省略します。

３　いじめ・不登校問題について

当市での取組は、非常にきめ細かい施策であると思います。まず、幌別中学校生徒会が「いじめ撲滅宣言」を全国へ発信していることが挙げられます。そして、「いじめ防止」に関わるサミット・フォーラムも開催されています。「いじめ」撲滅と「豊かな心」は密接に関連していますが、教職員のたゆまぬ努力と熱意には敬意を表します。しかし、数字的には「不登校出現件数」も「いじめ認知件数」もそんなに減少されておりません。やはり、「根絶」は難しいのでしょう。また、最近の傾向では「幼児・児童虐待」も報じられ、当市においても数字が出ています。それらを踏まえ、今後の各機関等の活躍を期待します。

４　防災教育・通学路安全について

東日本大震災以来、「防災教育」や「避難訓練」など命を守る取り組みが重要ですが、学校の地理的条件によって「高台避難」など不可能である場合、どのような方法を講ずるかは大変であると思います。「徒歩」ではなく、「車」での避難の場合どうするのでしょうか。今後の方向性のところで、「市総務」との連携の必要性を記述したほうがよいのではないでしょうか。また、「通学路の安全」について、「登下校時の見守り隊」や「みどりのおばさん」などとの連携・協力についても記述して欲しいです。市教委の施策という意味では仕方ないのでしょうか。

５　コミュニティスクールについて

図示化されているものはわかりやすいのですが、まず、「必要性」「目的」「現状」等の記述がありません。少し唐突な気がします。そして、「学校運営協議会」についても「準備が整った学校から」とありますが、市内全校で一斉に設置することを望みます。このことこそ、学校・地域・保護者・町内会等との連携だと思います。組織が多岐にわたり実現までご苦労されますが、是非要望します。

６　芸術・文化・スポーツ活動の振興について

これも市教委以外の機関がいろいろ活動されています。市教委としての施策は記述の通りですが、要望としては、「社会教育」「文化・スポーツ振興財団」「文化協会」「体育協会」との定期的な活動状況や事業等の反省などを話し合う連絡協議会のような組織を立ち上げて欲しいです。しかも、その推進は「市教委」が担って欲しいのです。「文化・スポーツ」とも振興計画の策定はありますが、横断的な取り組みはできないでしょうか。これも要望です。

以 上

Ⅴ 評価のまとめ

平成２５年度の登別市教育委員会の重点施策として点検・評価で取り上げた２０項目の評定結果は、

Ａ：達成しているもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４項目
Ｂ：おおむね達成しているもの・・・・・・・・・・・・・・　６項目
Ｃ：おおむね達成しているものの一部課題があるもの・・・・　０項目
Ｄ：達成に向け困難な課題があるもの・・・・・・・・・・・　０項目

となり、教育行政執行方針に沿って適切な教育行政の執行がなされたと考えております。今後も、この点検・評価の効果を高めるために、各種基本計画の内容を再確認するとともに、目標に向かってより多くの具体的な改善策が提示されるようにしなければならないと考えております。また、ＰＤＣＡ（計画・実行・確認・改善）のマネジメントサイクルを生かしたシステムづくりに心がけ、登別市の教育行政の推進に役立ててまいります。

Ⅵ 参 考 資 料

１　平成25年度教育行政執行方針

平成２５年第１回登別市議会定例会にあたり教育委員会所管の行政執行に関する基本方針を申し上げます。

今日の社会は、少子高齢化や高度情報化、グローバル化が急速に進展する中、人間関係の希薄化、国際競争の激化、溢れる情報、環境問題など様々な課題に直面しております。こうした中、教育の分野においては、複雑、多様化する社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く創造性やチャレンジ精神に溢れる人材を育成することが求められております。教育委員会といたしましては、「知識や技能を活用して課題を解決する力」や「柔軟な思考力」、「他者との関係を築く力」などを備えた「豊かな心をもち、たくましく生きる人間の育成」をめざすとともに、市民だれもがふるさとに愛着をもち、主体的に学び続け、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現を目指してまいります。

以下、平成２５年度の重点項目について申し上げます。

これからの教育を推進していくためには、学校が実施する教育課程の改善、子どもの学力・体力向上の取組、生活習慣の確立、教員の研修活動、社会教育との連携など、①学校の総合的な教育力向上を図る必要があります。このため、昨年度より、幌別小学校と近隣校や協力校が協働で取り組んでいる「学校力向上総合実践事業」や「巡回指導教員活用事業」の推進を支援してまいります。

また、各学校が、新学習指導要領で求められる「知、徳、体」のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指し、子どもたちの発達段階や特性に応じて取り組む、創意工夫を生かした②「特色ある教育活動」を支援してまいります。

③確かな学力の向上については、全国学力学習状況調査の結果から、「言語力」や「読解力」、「応用する力」の不足、「学力の二極化」などが課題となっておりますので、学校改善プランに基づき、基礎的・基本的学習内容の習得とそれらを活用した課題解決能力などの育成を促してまいります。
また、少人数指導、習熟度別学習など指導方法の工夫改善の取組や、放課後や長期休業中の補充学習の実施、チャレンジテストの有効活用、家庭学習の手引きの作成など、家庭と連携した取組を支援してまいります。

④特別支援教育については、家庭や地域との連携を図り、より適切な就学指導に努めるとともに、介助員の配置や支援教室の整備、トイレの改修など、学校の実態に応じた支援に努めてまいります。

幼稚園・保育所と小・中学校の⑤連携教育については、子ども一人ひとりが生活の変化に対応し、実り多い生活や学習を展開できるようにする必要があります。このため、「幼保・小・中連携協議会」を設置し、様々な情報の共有と各種事業の実施に取り組んでまいります。特に、幼保・小連携では、小学校

生活への親しみや見通しをもつことが期待できる「子ども同士の交流」、発達状況や指導状況についての理解を深める「幼保・小の教職員間の交流」などの施策を推進してまいります。また、各小学校に、新入学児童の学校生活をサポートする「生活支援員」を配置いたします。

⑥いじめ・不登校などの問題行動については、その要因、背景が多様化しておりますので、いじめ・不登校対策会議を開催するなど、学校、家庭、関係機関との一層の連携を図り、情報共有と的確な実態把握、迅速かつ適切な対策に取り組み、その解消に努めるとともに、子どもの意欲や興味・関心を引き出す「体験教室」、学習支援を行う「適応指導教室」など、学校復帰をめざした取組の充実に努めてまいります。

⑦豊かな心と健やかな体の育成については、「命を大切にする心」や「倫理観」、「規範意識」などをはぐくむ道徳教育を推進するとともに、人や自然、社会との関わりを通して、人間性を豊かにするボランティア活動や自然体験など「体験活動」の充実を図ってまいります。

また、当市の子どもたちの体力・運動能力は、「俊敏性」や「持久力」などに課題がありますので、学校における体育の時間はもとより、始業前、休み時間を利用した体力づくりを支援するとともに、道教委が進める「どさんこ元気アッププログラム」などを活用して、⑧日常的、継続的に体力向上が図られるよう啓発してまいります。小学校で取り組むスキー・スケート授業や中学校で導入された柔道の授業については、登別スキー連盟や登別柔道連盟などの協力を得て、安全に実施できるよう支援してまいります。

子どもたちの⑨健康づくりについては、食に関する理解を深める「食育」や、薬物に対する知識と心身への影響について学習する「薬物乱用防止教育」など、健康教育の推進と、歯や口の健康づくりとしての「フッ化物洗口」等の拡充に努めてまいります。

子どもたちが共同生活の中で、基本的生活習慣や学習習慣の定着を図る通学合宿「のぼりべつ・子ども村」を、引き続き、実施してまいります。

⑩読書活動は、子どもたちの言語能力の向上や物事に対する興味・関心を高め、表現力や想像力をより豊かなものにする上で極めて重要であります。このため、子どもたちが多様な読書活動や、主体的、意欲的な学習活動に取り組めるよう学校図書館の一層の活用を促すとともに、新たに専任司書を配置し、その機能を発揮できる環境づくりに努めてまいります。

次に、安全・安心な教育環境整備についてでありますが、

近年、地震や津波などの自然災害や痛ましい事件、事故が発生しており、学校安全と危機管理の取組を充実していくことが求められております。

市教委では、学校に対し、様々な災害や危険に対応できる危機管理マニュアルの更新を求めるとともに、家庭や地域と一体となった防災教室や避難訓練等を実施して、子どもたちの危機回避能力を高める⑪防災教育の充実を促してまいります。

⑫通学路の安全確保については、昨年、市教委が中心となり、警察、道路管理者、学校などの関係機関と合同で「通学路における緊急点検」を実施し、危険箇所の状況把握と具体的な対応策を検討しましたので、今後は、交通安全施設の整備等に取り組んでまいります。

また、緊急避難所となる「子ども１１０番の家」の拡充、防犯ステッカーの活用、青少年センターによる巡回、地域と連携した登下校の見守りなど、防犯対策の充実に努めてまいります。

情報機器の急速な進展により、不適切な掲示板への書き込みや有害サイトへの接続などの問題が生じておりますので、情報教育推進協議会と連携し「⑬情報安全教室」の開催など、利用上のモラルやマナーを高める取組を進めてまいります。また、いち早く災害や不審者などの情報を提供する「西いぶり生活情報メール配信サービス」については、学校、家庭に対する啓発活動を推進し、登録者の増加に努めてまいります。

⑭学校施設の耐震化については、富岸小学校体育館及び登別小学校体育館の耐震補強工事と登別小学校及び登別中学校校舎の耐震診断を実施します。鷲別小学校については、実施設計に取り組み、建設工事に向けた準備を進めてまいります。

次に、家庭・地域と連携する教育についてでありますが、子どもたちの健やかな成長をはぐくむためには、家庭と地域の教育力を高め、その機能を十分に発揮できる支援体制を構築することが重要であります。当市においては、これまで、学校支援地域本部事業、放課後子ども教室の設置、青少年健全育

成活動など、地域の皆さんがボランティアとしてかかわり、早くから地域と連携した学校づくりを進めてまいりました。さらに、地域の皆さんが学校運営に参画して協働で児童生徒を育てる「学校運営協議会制度＝⑮コミュニティスクール」の導入に取り組んでまいります。

次に、社会教育についてでありますが、高齢化の進行や人口減少に伴い、社会生活を維持する上で様々な問題が生じており、「新しい公共」の考えのもと、公共的役割を担うＮＰＯなどの団体やそれを支える人材を育成することが求められております。そのため、人づくりを柱とした「⑯第四次社会教育中期計画」に沿った各種事業の推進を図ってまいります。

⑰家庭教育については、家庭教育力の低下や育児不安に陥る母親の増加等の課題が生じてきております。そのため、幼稚園や小学校の保護者を対象とする「家庭教育学級」の開設や各種社会教育施設で実施する「親子体験教室」の充実、さらには、国の「家族の時間づくりプロジェクト」に協賛した地域ぐるみで家族団らんの時間を創出する環境づくりに取り組み、家庭教育力の向上を図ってまいります。

⑱芸術・文化・スポーツ活動の振興については、引き続き、芸術・文化に接する機会の充実や市民の個性ある活動への支援、また、身近なスポーツに接することができる生涯スポーツの推進に努めてまいります。なお、活動の指針となる「文化振興基本計画」と「スポーツ振興基本計画」は、平成二十六年度で終了しますので、これまでの成果を生かしながら、時代の変化に対応した新たな計画の策定に着手いたします。

⑲図書館については、生涯学習の拠点として、市民の主体的な学びや読書意欲を高めるための図書資料の収集・提供や図書情報システムの改善などサービスの充実に努めてまいります。
また、「第二次登別市子ども読書活動推進計画」に沿って、学校、家庭、地域のボランティアと連携し、図書コーナーの充実、おはなし会や各種講座の開催など子どもの読書活動が一層推進されるよう図ってまいります。

⑳学校給食については、地場産の食材を使用した献立の工夫に努めるとともに、衛生管理の徹底を図り、安全・安心な給食を提供してまいります。また、耐震診断を実施し、今後の給食センターのあり方について検討してまいります。

以上、平成２５年度の教育行政に関する主要な方針を申し上げました。

国においては、教育再生に向けた論議が進められており、今後、一層教育改革の進展が予想されます。教育委員会では、このような動向を踏まえて、「教育は未来を担う人材を育成する基盤である」との認識に立ち、市長部局との連携を深め、活力ある教育の推進に努めてまいります。

市民の皆さん、ならびに市議会議員の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

2　教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ

全体目標

登　別　市　民　憲　章

登　別　市　総　合　計　画　／　登別市生涯学習基本構想

登　別　市　教　育　目　標

具体的な計画

学校教育基本計画（H21～H30）

重　点　1
子どもたちの「生きる力」の育成

1，確かな学力向上
- ①基礎・基本の定着
- ②思考力、判断力、表現力等の育成
- ③学び続ける意欲の醸成

2，豊かな人間性の育成
- ①豊かな心を育む教育の充実
- ②生徒指導、不登校対策等の充実
- ③教育相談の充実

3，たくましく生きるための健康や体力づくり
- ①健康や体力づくりの推進
- ②食育の推進
- ③地域との連携
- ④指導者、指導技術の充実

重　点　2
地域に根ざした魅力ある学校づくり

1，特色ある教育活動の推進
- ①時代の変化に伴う教育課題への対応
- ②総合的な学習の時間の充実
- ③体験学習の充実
- ④情報機器の効果的な活用

2，開かれた学校づくりの推進
- ①学校公開や地域交流推進
- ②家庭・地域との連携推進
- ③地域の教育力の活用
- ④学校評議員・学校評価の活用推進

3，教育環境の充実
- ①児童生徒の安全確保
- ②安全で衛生的な教育環境の充実
- ③特別支援教育の体制づくり
- ④教職員の資質能力の向上

第4次社会教育中期計画（H23～H27）

1　人づくり

(1)青少年教育
次代を切り開くたくましさと豊かな心をもつ青少年を育成するための各種体験活動の充実、環境の整備

(2)成人教育
市民の主体的な学習の推進
＜市民が主体となった社会教育を目指して＞

(3)高齢者教育
高齢者のニーズに応じた多様な学習機会の充実

(4)全世代教育
異世代間交流の充実

2　家庭教育
家庭の教育力向上のための学習支援の教化、充実

3　条件整備
いつでも、どこでも、誰もが学べる学習環境の整備

4　文化活動
文化の保護・継承と文化活動や文化を育む環境づくりの推進を図る

文化振興基本計画（H17～H26）

5　健康づくり・スポーツ
生涯スポーツの推進を図る

スポーツ振興基本計画（H17～H26）

点検・評価

教育員会点検・評価

- 教育行政執行方針の自己評価
- 教育委員会活動報告
- 学識経験者による評価・意見

事務事業評価

- 予算を伴う事業の評価
- 担当による自己評価

各種基本計画の進捗状況

- 学校教育基本計画
- 第4次社会教育中期計画
- 文化振興基本計画
- スポーツ振興基本計画

３　平成25年度　各種基本計画の進捗状況
学校教育基本計画

◎＝前年度より改善　　△＝昨年度より課題

重点１　子どもたちの「生きる力」の育成

	主要な施策	推進項目	平成25年度 進捗状況 進展	維持	遅延	主な事業等	執行方針重点番号	平成24年度 進捗状況 進展	維持	遅延	執行重点
１　確かな学力の向上	①基礎・基本の定着	学力向上プラン	○			○学校力向上総合実践事業	3	○			3
		基礎・基本の徹底	◎			○登別市学力向上プラン	3		○		3
		指導方法工夫改善	○			○指導方法工夫改善事業 ○巡回教員活用事業	3	○			3
		学校支援ボランティアの活用		△				○			
		家庭学習の充実		○			3		○		3
	②思考力、判断力、表現力等の育成	校内研修の充実	○				1	○			4
		公開研究会の開催	○			・教育実践研究奨励事業	1	○			4
		研修講座等への参加促進	○			○白老との地域連携研修事業	1	○			4
		教科との関連を図った「総合的な学習の時間」の充実		○		・特色ある学校づくり推進経費			○		
		個に応じた指導の充実	○				3	○			3
	③学び続ける意欲の醸成	学習評価の充実		○					○		
		授業の充実	○			・教育実践研究奨励事業	1	○			4
		生活習慣・学習習慣の形成		○			3		○		3
		創意工夫を生かした教育課程の編成	○					○			
２　豊かな人間性の育成	①豊かな心を育む教育の充実	自然体験活動の充実	○			・特色ある学校づくり推進経費 ・自然体験学習推進経費	7	○			10
		社会体験活動の充実		○			7		○		10
		道徳教育の充実		△		・道徳の授業改善事業	7	○			10
		地域の人材活用	○					○			
		読書活動の推進	◎			・図書館運営管理費 ・学校図書館司書配置事業費	10		○		14
	②生徒指導、不登校対策等の充実	生徒指導の校内体制の充実	○			○いじめ防止基本方針の作成	6	○			11
		情報連携・行動連携の充実	○			・青少年育成指導経費	6	○			
		不登校・いじめ等対策	○			・不登校・いじめ等対策経費	6	○			11
		適応指導教室等の充実		△			6	○			11
		関係機関との連携		○			6		○		
	③教育相談の充実	スクールカウンセラーの活用	○			・スクールカウンセラー活動経費	6	○			
		心の教室相談員の活用		○		・心の教室相談員活動経費	6		○		
		電話・メール・訪問相談の充実		○			6		○		
		「いじめ問題」への適切な対応	○			・不登校・いじめ等対策経費	6	○			11
		地域、関係部局、関係機関との連携促進	○			・スクールソーシャルワーカー活用事業	6	○			11
３　たくましく生きるための健康や体力づくり	①健康や体力づくりの推進	「体力」についての実態把握	◎				8		○		
		体育の授業の充実		○			8		○		12
		体力の向上を目指した特色ある教育活動の促進		○		・スキー授業等推進事業	8		○		12
		薬物乱用防止教育の推進	○					○			
		性に関する指導の推進		△				○			
		体育施設設備の整備・充実	○				14	○			12
		中学校運動部活動の充実		△		・特別活動推進経費		○			
	②食育の推進	食に関する指導 「全体計画」の作成		△				○			13
		食の通信「すくすく」の発行		○					○		
		栄養教諭による指導	○					○			13
		望ましい食習慣の啓発	○					○			13
	③地域との連携	放課後子どもプランの実践	○			・放課後子ども教室推進事業		○			
		学校支援ボランティアによる支援		△				○			17
	④指導者、指導技術の充実	講習会、各種研修会の参加促進		○					○		
		地域人材の活用	○					○			

重点２　地域に根ざした魅力ある学校づくり

	主要な施策	推進項目	平成25年度 進捗状況 進展	維持	遅延	教育総務・小・中学校費	執行方針重点番号	平成24年度 進捗状況 進展	維持	遅延	執行重点
１　特色ある教育活動の推進	①時代の変化に伴う教育課題への対応	国際理解教育の推進	○					○			7
		伝統文化に触れる機会の提供		○			2		○		
		食育の推進	○					○			13
		環境教育の推進		△				○			
		人権教育の推進	○					○			10
		英語教育の推進・小学校外国語活動の推進		△		・外国青年招致経費		○			7
		安全教育の推進	○					○			1
		読書活動の推進	◎			・読書活動推進事業	10		○		
	②総合的な学習の時間の充実	全体計画・指導計画の充実		○					○		
		地域の人材・環境の活用		△				○			
		特色ある活動の継承	○				2	○			6
		キャリア教育	○					○			
	③体験活動の充実	自然体験・社会体験学習の充実	○			・自然体験学習推進経費	7	○			18
		異学年交流の促進		△				○			
		子ども共同生活体験の推進	○			・通学合宿　みんなで学ぶ「子ども村」	9	○			17
	④情報機器の効果的な活用	情報教育の推進	◎			・小中学校情報教育推進事業			○		
		授業での活用促進		△				○			
		教員用コンピュータの効果的な活用	○					○			
		登別市情報教育推進協議会との連携		○		・情報教育システム広域化事業	13		○		
２　開かれた学校づくりの推進	①学校公開や地域交流の推進	学校からの情報発信	○				13	○			9
		学校公開の促進	○					○			9
		学校支援ボランティアの活用	○					○			
		地域活動との連携		○					○		
		小中学校の連携の促進		○			5		○		8
	②家庭・地域との連携促進	家庭教育の充実	○			○家族の時間づくりプロジェクト	17	○			
		地域教育の充実	○					○			
		学校支援ボランティアの体制整備	○			・子ども地域交流プラザ事業補助金 ・学校支援地域本部事業費		○			17
	③地域の教育力の活用	学校支援ボランティアの活用	○					○			17
	④学校評議員・学校評価の活用促進	学校評議員制度		○		・開かれた学校づくり推進事業	15		○		
		学校評価の促進		○					○		
		学校評価の活用		○					○		
３　教育環境の充実	①児童生徒の安全確保	施設設備の保守点検、改修	○				13	○			2
		学校施設の耐震化	○				14	○			2
	②安全で衛生的な教育環境の充実	危機管理マニュアルの点検	○					○			1
		不審者対策等、登下校の安全確保	○				13	○			
		学校環境検査の実施	○					○			
	③特別支援教育の体制作り	児童生徒の実態把握	○			・特別支援教育推進経費	4	○			5
		推進のための校内体制の整備		△				○			
		コーディネーター等研修会の開催	○				4	○			5
		支援員（介助員、学習支援補助員）	○				4	○			5
		登別市特別支援教育推進協議会		○		・特別支援教育振興費	4		○		5
		部局・関係団体等との連携促進	○			・言語障害通級教室運営経費	4	○			
	④教職員の資質能力の向上	校内研修の充実	○				1	○			4
		研修事業への派遣促進		△			1	○			4
		学校職員評価の実施		○					○		
		教員研修会等の開催	○				1	○			4
		登別市教育研究会との連携		△		・教育研究会運営事業補助金	1	○			4
		胆振教育研究所との連携	○				1	○			

第４次社会教育中期計画（H23～H27）

	主要な施策	推進項目	平成25年度 進捗状況 進展	維持	遅延	教育総務・小・中学校費	執行方針重点番号	平成24年度 進捗状況 進展	維持	遅延	執行重点
1	人づくり	(1)青少年 次代を切り開くたくましさと豊かな心をもつ青少年を育成するため各種体験活動の充実、環境の整備	○			・姉妹都市小中学校交流事業補助金 ・少年の主張大会経費 ・子ども会活動振興助成金 ・学校支援地域本部事業費	16	○			
		(2)成人 市民の主体的な学習の推進＜市民が主役となった社会教育を目指して＞	○			・市民生涯学習推進講座経費 ・三市合同女性国内派遣研修経費 ・成人祭経費	16	○			
		(3)高齢者 高齢者のニーズに応じた多様な学習機会の充実	○				16	○			
		(4)全世代 異世代間交流の充実		△		・生涯学習推進経費	16	○			
2	家庭教育	家庭の教育力向上のための学習支援の強化、充実	○			・PTA連合会助成金		○			16
3	条件整備	いつでも、どこでも、誰もが学べる学習環境の整備・充実		○		・教育施設運営管理委託料 ・社会教育業務推進事業費			○		
4	文化活動	文化振興基本計画の推進	○			・文化振興助成金	18	○			19
5	健康づくり・スポーツ	スポーツ振興基本計画の推進	○			・体育協会助成金 ・生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費	18	○			20

文化振興基本計画

	主要な施策	推進項目	平成25年度 進捗状況 進展	維持	遅延	教育総務・小・中学校費	執行方針重点番号	平成24年度 進捗状況 進展	維持	遅延	執行重点
1	市民文化活動の活性化	・自主的、個性的な文化活動 ・文化情報の収集、周知、参加の促進 ・芸術文化の鑑賞機会の提供 ・文化活動施設の整備	○			・婦人研修の家維持管理経費 ・公民館運営管理費 ・ネイチャーセンター運営管理経費	18	○			19
2	文化活動を担う人づくり	・文化活動の広がり ・青少年の健全育成 ・自主的な文化活動の育成 ・人材育成と発掘	○			・三市合同文化事業負担金 ・図書館運営管理事業	19	○			19
3	歴史の伝承と活用	・郷土への愛着 ・埋蔵文化財の保護と活用 ・民俗芸能の継承 ・温泉の歴史の活用、発信	○			・文化伝承館運営管理費 ・のぼりべつ文化交流館運営管理費 ・郷土資料館運営管理費	18	○			19
4	アイヌ文化の振興	・市民一人ひとりの共有財産として、歴史的な遺産にとどめることなく、将来に向かって振興を図る		○		・文化財保護経費			○		

スポーツ振興基本計画

	主要な施策	推進項目	平成25年度 進捗状況 進展	維持	遅延	教育総務・小・中学校費	執行方針重点番号	平成24年度 進捗状況 進展	維持	遅延	執行重点
1	スポーツレクリエーション活動の推進	・余暇の充実 ・参加するスポーツへの転換	○			・姉妹都市スポーツ交流事業助成金 ・スポーツ推進委員会経費 ・文化・スポーツ振興財団事業補助金	18	○			20
2	健康・体力づくり	・高齢化社会を健やかに ・医療費の縮減につなげる		○					○		20
3	競技スポーツの推進	・青少年の健全育成 ・全国・全道レベルの達成	○			・市町スポーツ交流会事業費 ・児童生徒スポーツ振興助成金 ・登別市スポーツ少年団育成助成金		○			
4	学校におけるスポーツ活動の推進	・体育指導の充実 ・運動・スポーツに親しむ ・資質・能力の育成		△		・市民プールバスパック業務委託費		○			20
5	施設整備の推進	・施設の積極的開放 ・協力し合い利用 ・スポーツ施設情報	○			・青少年会館運営管理費 ・市民プール運営管理経費 ・総合体育館整備事業 ・学校開放事業	18	○			

学識経験者の指摘事項と対応 （24年度指摘事項に対する25年度の対応）

指摘事項	平成24年点検評価の指摘内容	平成25年点検評価での対応
教育委員会の活動状況	定例教育委員会で、何がどのように議論されたのか明確でない。不登校・いじめ、体罰などの問題は、会議において深く審議されその対応を教育現場に提案していただきたい。 教育委員会で話し合われた重要な案件については、この報告書の中に軽くでも良いから議論された内容を紹介した方がよいのではないだろうか。	定例の教育委員会で、どのような審議がされたのかを報告書の中で、「意見交換から（委員の意見・感想）として概要を掲載しました。特に、重要な案件の主な意見を紹介しました。
教職員の資質能力向上	学力向上対策で、今年度の全国調査に課題がみられたことは問題の所存が深いものと考えられる。教職員の指導力向上をめざし、OFF-GT（人材育成機関への通所研修）や教員の自己啓発などと有機的な連携を高め成果がでることを望む。	学習指導や生徒指導など子どもと直接関わる研修は教師の職能向上の基本であり、道教委や市教委、各学校での校内研修として実施しています。学校力向上推進事業や巡回教員活用事業は、複数の学校が協力して進める新たな人材育成のシステムであり、成果を検証し今後の取組にいかしていきます。
学校の耐震化	学校耐震化は、予算措置との関係で低水準であると聞き及んでいる。火急速やかに進捗することを望む。	避難所の機能となる体育館の改修を優先的に進めてまいりましたが、平成25年度終了させることができました。今後も、計画的に、耐震診断、耐震改修を進めてまいります。
教育をめぐる課題	国では、教育委員会制度の改革やいじめ、不登校、部活動における体罰問題への対応などが求められている。教育行政組織が、合理的に機能して次代を担う青少年の教育に真摯な対応がなされることを望む。	国や道の動向にはアンテナを高くして情報収集を行い、事業を推進しております。9月に施行された「いじめ防止対策推進法」で求められた「学校いじめ対策基本方針」は、いち早くすべての学校で作成することができました。
英語（国際理解教育）	英語教育を小学校から導入しているが、教師の研修はどうなっているのか。	「登別市英語推進プラン」が完成しましたので、このプランに沿って市内小中学校の英語教育の推進を図ってまいります。
情報教育	当市の教育の現場においてITがどの程度利用されているのか。また、予算措置はどうなっているのか。	授業では、調べ学習を中心に利用されておりますが、情報教育の現在の喫緊の課題は利用上のモラルやマナーの向上であり、各学校の取組状況を報告しております。
特色ある教育活動	今回は、スキースケート学習のみしか紹介されていないが、特色ある教育活動はもっと幅が広く個性的な活動であるべきである。	重要施策の一つとして取り上げ、各学校の主な「特色ある教育活動」の実施状況を報告しました。スキースケート学習は、全学校で実施することになったことから、冬の体力向上のための授業として位置づけました。
家庭教育	「家庭教育学級」は、内容を見ると趣味的なものが中心であるが、我が子を育てる家庭教育のあり方や問題点についての学習面を重視すべきである。	家庭教育の充実については、新たに家族のふれあう機会の充実をめざし、「家族の時間づくりプロジェクト」をスタートさせました。
食育	食物アレルギー児童に対する取組について触れていない。事件が発生する以前に対策が必要である。教育委員会としての対策に対する指導性が求められる。	重要施策の「子どもの健康づくり」の中で、食育のための栄養教諭の派遣状況、「学校給食」の中で、給食センターの特色ある給食の実施などを報告しています。食物アレルギー対策については、2月に医師会によるエピペンの講習会を実施するなど充実に取り組んでいます。
文化・芸術の振興	「知里幸恵銀のしずく記念館」をアイヌ文化講座などで活用すべきである。	学校では、登別小学校の「ふるさと学習」で活用されていますが、今後は、市民に広く活用されるような方法を検討してまります。
学校図書館	学校図書館の充実とは蔵書数を増やすことだけではない。全校の児童生徒に利用・活用させることである。図書室には、司書教諭を配置し、環境整備や読書指導を担当するような環境づくりが必要である。	重要施策の「読書活動」の中で、各学校の読書活動の実態を報告しています。また、新たに取り組んだ「学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議および児童書展」の取組を明らかにしました。